

令和6年3月市議会定例会議提出議案

令和6年3月 日提出

| 区 分 | 件 数 |
|-------|-----|
| 予算関係 | 21 |
| 条例関係 | 38 |
| その他議案 | 4 |
| 報告 | 1 |
| 計 | 64 |



福島市
FUKUSHIMA CITY

*この資料は、主な改正点等について、参考まで記載したものです。

【予算関係 その①】

- 1 議案第 号 令和6年度福島市一般会計予算
- 2 議案第 号 令和6年度福島市水道事業会計予算
- 3 議案第 号 令和6年度福島市下水道事業会計予算
- 4 議案第 号 令和6年度福島市農業集落排水事業会計予算
- 5 議案第 号 令和6年度福島市国民健康保険事業費特別会計予算
- 6 議案第 号 令和6年度福島市飯坂町財産区特別会計予算
- 7 議案第 号 令和6年度福島市公設地方卸売市場事業費特別会計予算

【予算関係 その②】

8 議案第 号 令和6年度福島市土地区画整理事業費特別会計予算

9 議案第 号 令和6年度福島市介護保険事業費特別会計予算

10 議案第 号 令和6年度福島市庁舎整備基金運用特別会計予算

11 議案第 号 令和6年度福島市後期高齢者医療事業費特別会計予算

12 議案第 号 令和6年度福島市青木財産区特別会計予算

13 議案第 号 令和6年度福島市工業団地整備事業費特別会計予算

14 議案第 号 令和6年度福島市母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計予算

【予算関係 その③】

- 15 議案第 号 令和5年度福島市一般会計補正予算（第10号）
- 16 議案第 号 令和5年度福島市一般会計補正予算（第11号）
- 17 議案第 号 令和5年度福島市水道事業会計補正予算
- 18 議案第 号 令和5年度福島市国民健康保険事業費特別会計補正予算
- 19 議案第 号 令和5年度福島市介護保険事業費特別会計補正予算
- 20 議案第 号 令和5年度福島市庁舎整備基金運用特別会計補正予算
- 21 議案第 号 令和5年度福島市後期高齢者医療事業費特別会計補正予算

【条例関係 その①】

22 議案第 号 福島市監査委員条例等の一部を改正する条例制定の件

地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

条例中で引用する条項の修正

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その②】

23 議案第 号 福島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する 条例の一部を改正する条例制定の件

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

<引用する用語の修正>

(改正前) 法別表第二に掲げる事務 ⇒ (改正後) 特定個人番号利用事務

※ (参考) 法改正の趣旨

個人番号を利用する法定事務を法律における規定から、省令による規定に変更し
法改正よりもスピードアップを図るもの

(法律の施行の日から施行)

【条例関係 その③】

24 議案第 号 福島市職員定数条例の一部を改正する条例制定の件

保育士増員による体制強化や定年引上げに伴い、職員定数を上げる改正を行う。

【主な改正内容】

| | | | |
|------|--------|---|---------------|
| | (改正前) | | (改正後) |
| 職員定数 | 2,536人 | ⇒ | <u>2,576人</u> |

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その④】

25 議案第 号 福島市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する 条例制定の件

国立大学法人法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

条例中で引用する条項の修正

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その⑤】

26 議案第 号 福島市前澤未来基金条例を廃止する条例制定の件

基金の設置目的を達成したことに伴い、条例を廃止する。

- ※1 個性を伸ばし未来を開拓できる人材の育成や教育等を推進する事業へ活用し、基金残高ゼロ
- ※2 前澤友作氏から同種の寄付があった際は、関連する基金で活用

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その⑥】

27 議案第 号 福島市手数料条例の一部を改正する条例制定の件

(1) 地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、危険物を貯蔵する浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所及び浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所を設置する場合の申請手数料額の改正を行う。

【主な改正内容】

| 最大貯蔵容量 | 改正前 | 改正後 |
|---------------------------------|------------|-------------------|
| ①1,000キロリットル以上 5,000キロリットル未満 | 1,180,000円 | <u>1,450,000円</u> |
| | ∫ | ∫ ※②～⑦省略 |
| ⑧400,000キロリットル以上 | 7,070,000円 | <u>8,790,000円</u> |

イメージ図



※福島市に設置実績なし

(令和6年4月1日から施行)

(2) 脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例で引用する法律名が変更となるため所要の改正を行う。

【主な改正内容】

<引用する法律名の修正>

(改正前) 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律



(改正後) 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律

※ (参考) 法律名に「等」が追加された理由

2050年カーボンニュートラル、2030年度に温室効果ガスを46%削減(2013年度比)する目標の実現に向け、省エネルギーの徹底に加え、再生可能エネルギーの利用拡大の取組強化を図る目的を追加するもの

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その⑦】

28 議案第 号 福島市立学校条例の一部を改正する条例制定の件

市内初の義務教育学校を設置するための改正を行う。

【主な改正内容】

(新設) 福島市立松陵義務教育学校

- ※1 松川地区の市立小中学校を廃止して新たに設置
(対象校：松川小学校、金谷川小学校、下川崎小学校、松陵中学校)
- ※2 義務教育学校の特徴
 - ・小中一貫した教育目標・教育方針による“9年間”の教育
 - ・入学式は1年生、卒業式は“9年生(現：中学3年生)”
 - ・9年間の継続した指導・支援により“基礎学力の定着”と“深い学び”につなげる
 - ・小学校から中学校に進学する際に起こりやすい不安や戸惑いの“緩和”と“解消”に効果

(令和7年4月1日から施行)

【条例関係 その⑧】

29 議案第 号 福島市企業立地促進条例の一部を改正する条例制定の件

本市への企業誘致を促進するため、固定資産税相当額を一定期間助成する操業奨励助成金制度を拡充し、企業の投資意欲の高揚を図る改正を行う。

【主な改正内容】

(1) 用地の“取得”により操業を開始した企業への助成

その①
伴走型支援
“拡充”

| | 助成額（固定資産税相当額） | 助成期間／対象業種 |
|-----|---|---|
| 改正前 | 上限 1,000万円／年 ※対象用地：工業団地のみ | ①助成期間 3年間 ⇒対象：製造業・物流業・情報技術・研究開発型企业等 |
| 改正後 | 上限 2,000万円+ (2,000万円を 超える分の1/2) /年 ※対象用地：工業団地以外にも適用 | ②助成期間 5年間 ⇒対象：特定集積産業 (医療・健康・ロボット・航空・農産物加工等) |

その②
伴走型支援
“創設”

(2) 用地の“取得なし”に操業を開始した企業への助成

| 助成額（固定資産税相当額） | 助成期間／対象業種 等 |
|---|--|
| <p>原則：<u>固定資産税額の1/2相当額</u></p> <p>※上限 2,000万円＋（2,000万円を 超える分の1/2）／年</p> | <p><u>助成期間 3年間</u></p> <p>対象：製造業・物流業・情報技術・ 研究開発型企业・特定集積産業 等</p> <p>※<u>用地取得を必要とするものを除く</u></p> |

その③
伴走型支援
“創設”

(3) 操業開始後、追加で“設備投資”等を行う企業への助成

| 助成額（固定資産税相当額） | 助成期間／対象業種 等 |
|---|--|
| <p>原則：<u>固定資産税額の1/2相当額</u></p> <p>※上限 2,000万円＋（2,000万円を 超える分の1/2）／年</p> | <p>助成期間 <u>3年間</u></p> <p>①対象：製造業・物流業・情報技術・ 研究開発型企业・特定集積産業 等</p> <p>②要件： ・<u>市内で操業開始から10年以内の企業</u> ・<u>固定資産税が発生する新たな設備投資等</u> <u>（建物の増築、機械設備の購入など）で</u> <u>あること</u></p> <p>※<u>用地取得を必要とするもの、機械設備の更新を除く</u></p> |

（令和6年4月1日から施行）

【条例関係 その⑨】

30 議案第 号 福島市犯罪被害者等支援条例制定の件

犯罪被害者等を地域社会全体で支え、誰もが安全に安心して暮らせる地域社会の実現に寄与するため、条例を設ける。

【主な内容】

- (1) 犯罪被害者等の支援にかかる基本理念を規定
- (2) 地域社会の役割を「市」「市民等」「事業者」それぞれについて規定
- (3) 基本理念に基づき実施する犯罪被害者等への支援を規定

※犯罪被害者等とは？

犯罪等により被害を受けた本人、その家族（遺族を含む）

(公布の日から施行)

【条例関係 その⑩】

31 議案第 号 福島市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件

無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準が、今後のデジタル社会に向けて一部改正されたことから、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

<入居申込者に重要事項等を記録媒体で交付する場合>

| 改正前 | 改正後 |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 磁気ディスク、シー・ディー・ロムその他これに準ずる方法 | <u>電磁的記録媒体</u> ※媒体を限定しない |

(公布の日から施行)

【条例関係 その⑪】

32 議案第 号 福島市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定の件

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部改正に伴い、
所要の改正を行う。

【主な改正内容】

条例中で引用する条項の修正

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その⑫】

33 議案第 号 福島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準が、今後のデジタル社会に向けて一部改正されたことから、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

- (1) 認可保育施設の重要事項のインターネット上への情報公開の義務化
- (2) 保護者に文書等を記録媒体で交付する場合

| 改正前 | 改正後 |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 磁気ディスク、シー・ディー・ロムその他これに準ずる方法 | <u>電磁的記録媒体</u> ※媒体を限定しない |

【（１）は令和６年４月１日から、（２）は公布の日から施行】

【条例関係 その⑬】

34 議案第 号 福島市子育てのための施設等利用給付の対象となる認可外保育施設の基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件

子ども・子育て支援法施行規則が、今後のデジタル社会に向けて一部改正されたことから、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

認可外保育施設の保育サービス内容のインターネット上への情報公開の義務化

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その⑭】

35 議案第 号 障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる福島市づくり条例の一部を改正する条例制定の件

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の一部改正に伴い、合理的配慮の提供の義務化等を規定する改正を行う。

【主な改正内容】

(1) 社会的障壁の除去にかかる合理的配慮の提供

| 対象 | 改正前 | 改正後 |
|-----|------|-----|
| 市 | 義務 | 義務 |
| 事業者 | 努力義務 | |

※社会的障壁とは：障がいのある者にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物や制度等

(2) 「障がいを理由とした差別やその解消の取組に関する情報の収集等」を市の努力義務として規定

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その⑮】

36 議案第 号 福島市市民会館条例を廃止する条例制定の件

市民会館の老朽化に伴い、（仮称）市民センターへの複合化により閉館するため、条例を廃止する。

（令和7年1月11日から施行）

37 議案第 号 福島市老人センター条例の一部を改正する条例制定の件

敬老センターの老朽化に伴い、（仮称）市民センターへの複合化により閉館するため、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

福島市敬老センター（市民会館内） ⇒ 廃止

（令和7年1月11日から施行）

【条例関係 その⑯】

38 議案第 号 福島市夜間急病診療所条例の一部を改正する条例 制定の件

小児科休日当番医の負担を軽減し、持続可能な休日小児科診療体制を構築するため、夜間急病診療所を休日小児科診療機能を持つ施設に改変し、市内における小児医療の充実・強化を図る改正を行う。

【主な改正内容】

- (1) 施設名称の変更 福島市夜間休日急病センター
(2) 診療内容の拡充
従来の夜間診療に、以下の休日診療を加える

- ①診療科目・診療日 小児科のみ（第2・第4日曜日）
②診療時間 午前9時～正午／午後1時～午後5時
③診療受付時間 午前8時30分～午前11時30分／午後1時～午後4時

(令和6年7月1日から施行)

【条例関係 その⑰】

39 議案第 号 福島市介護保険条例の一部を改正する条例制定の件

介護保険法施行令の一部改正により示された介護保険料の見直し基準に基づき令和6年度から令和8年度の保険料率にかかる改正を行う。

【主な改正内容】

(1) 介護給付費の増加と保険料率の見直しによる第1号被保険者の負担額引上げ

| | (改正前) | | (改正後) |
|--------|--------|---|---------------|
| 【基準月額】 | 6,100円 | ⇒ | <u>6,500円</u> |

(2) 低所得者の保険料上昇を抑制するため、所得再分配機能を強化

| | (改正前) | | (改正後) |
|-------------|-------|---|--------------|
| 【保険料段階の細分化】 | 10段階 | ⇒ | <u>13</u> 段階 |

※高所得者の負担割合をきめ細かな区分で引上げし、低所得者の負担割合を引下げるもの

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その⑱】

40 議案第 号 福島市こども発達支援センター条例の一部を改正する 条例制定の件

児童発達支援センターの地域における中核的な役割を明確化し、医療型と福祉型の機能を一元化するため児童福祉法の一部が改正されたことに伴い、児童発達支援の強化を図る改正を行う。

【主な改正内容】

- (1) 居宅訪問型児童発達支援機能を追加
- (2) 保育所等訪問支援機能を追加

※1 居宅訪問型児童発達支援とは？

重度の障がいのため外出が著しく困難な児童の生活能力向上等のために、家庭を訪問し実施する支援

※2 保育所等訪問支援とは？

障がい児が集団生活に適應するために、保育所等を訪問し実施する支援

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その⑱】

41 議案第 号 福島市営住宅等条例の一部を改正する条例制定の件

子育て世帯、若者夫婦世帯を対象とした住宅支援のさらなる充実、及び指定管理者制度の導入により多様化する入居者ニーズへの対応や運営管理の効率化を図ることを目的に改正を行う。

【主な改正内容】

(1) 新婚・子育て世帯向け住宅の入居要件 “緩和”

| | | 改正前 | 改正後 |
|--------------------|---|----------------------------|----------------------|
| 入居収入基準 (世帯月額所得) | | 214,000円 以下 | <u>259,000円 以下</u> |
| 入居の世帯条件 ※いずれか | ① | 結婚してから3年以内で、 共に39歳以下の夫婦 | <u>どちらかが39歳以下の夫婦</u> |
| | ② | 小学校修了前の子がいる世帯 | <u>18歳未満の子がいる世帯</u> |

(2) 指定管理者制度の導入 (令和7年度導入予定)

(令和6年4月1日から施行)

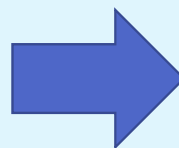
【 条例関係 その⑱ 参考資料 】

◆新婚・子育て世帯向け住宅の入居収入基準の例◆

～ 共働きの夫婦で小学生と園児の子どもがいる4人世帯の場合 ～

改正前

世帯年収 約580万円以下



改正後

世帯年収 約660万円以下

※1 上記モデルケースで、小学生の子ども1人の3人世帯の場合は、改正後の世帯年収は約600万円以下

※2 共働き以外の場合や自営業など、状況により基準額は変わります

【条例関係 その⑳】

42 議案第 号 福島市水道局企業職員の給与の種類及び基準を定める 条例の一部を改正する条例制定の件

会計年度任用職員に勤勉手当を支給する改正を行う。

【主な改正内容】

会計年度任用職員の給与の種類に「勤勉手当」を追加

※（参考）令和6年度の会計年度任用職員の期末勤勉手当について

| | | |
|-------------|---|-------------|
| (改正前) | | (改正後) |
| 年間期末手当2.45月 | ➔ | 年間期末手当2.45月 |
| | | 年間勤勉手当2.00月 |
| | | 合計 4.45月 |

(令和6年4月1日から施行)

【条例関係 その⑳】

- 43 議案第 号 福島市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 44 議案第 号 福島市指定障害者支援施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 45 議案第 号 福島市障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 46 議案第 号 福島市障害者支援施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件

【条例関係 その②① 主な改正内容】

<障がいに関わること>

障がい者が希望する地域生活を実現する地域づくり

- ①障害福祉サービス利用者が地域生活へ移行するにあたり、本人の意向把握等のため、確認担当者の選任の義務化などを規定
- ②障害福祉サービス利用者が、自ら意思を決定することに困難を抱える場合において、本人の意思及び選好並びに判断能力等について丁寧に把握することを規定

(令和6年4月1日から施行。ただし、一部は、法に規定する日から施行)

【条例関係 その②②】

47 議案第 号 福島市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定の件

児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

<障がい（児童）に関わること>

社会の変化等に伴う障がい児のニーズへのきめ細かな対応

⇒障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい児及びその保護者の意思をできる限り尊重するための配慮などを規定

（令和6年4月1日から施行。ただし、一部は、法に規定する日から施行）

【条例関係 その⑳】

- 48 議案第 号 福島市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 49 議案第 号 福島市特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 50 議案第 号 福島市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 51 議案第 号 福島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件

【条例関係 その②④】

- 52 議案第 号 福島市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 53 議案第 号 福島市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 54 議案第 号 福島市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 55 議案第 号 福島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定の件

【条例関係 その②⑤】

- 56 議案第 号 福島市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 57 議案第 号 福島市指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 58 議案第 号 福島市介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
- 59 議案第 号 福島市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件

【条例関係 その⑳～㉔ 主な改正内容】

<介護に関わること>

- (1) 地域包括ケアシステムの深化・推進
⇒協力医療機関との連携体制を構築することを規定
- (2) 自立支援・重度化防止に向けた対応
⇒指定訪問リハビリテーションを実施するにあたり、入院時に医療機関が作成したリハビリテーション計画書の入手及び把握の義務化
- (3) 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり
⇒介護サービス利用者の安全並びにサービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会設置の義務化
- (4) 制度の安定性・持続可能性の確保
⇒一部の福祉用具に係る貸与と販売の選択制を導入。利用者の安全確保のため、選択後の利用状況のモニタリング実施、及び貸与継続の必要性の検討を義務化

(令和6年4月1日から施行。ただし、一部は、令和6年6月1日から施行)

【その他議案 その①-1】

60 議案第 号 事業契約の件

福島市新学校給食センター整備運営事業について、事業契約を締結する。

- (1) 契約の目的 福島市新学校給食センター整備運営事業
- (2) 契約方法 随意契約
- (3) 契約金額 10,436,471,390円
- (4) 契約の相手方 株式会社福島スクールランチ
代表取締役 福島 弘也
- (5) 契約期間 契約締結の日から
令和23年3月31日まで



【その他議案 その①-2】

PFI手法を導入

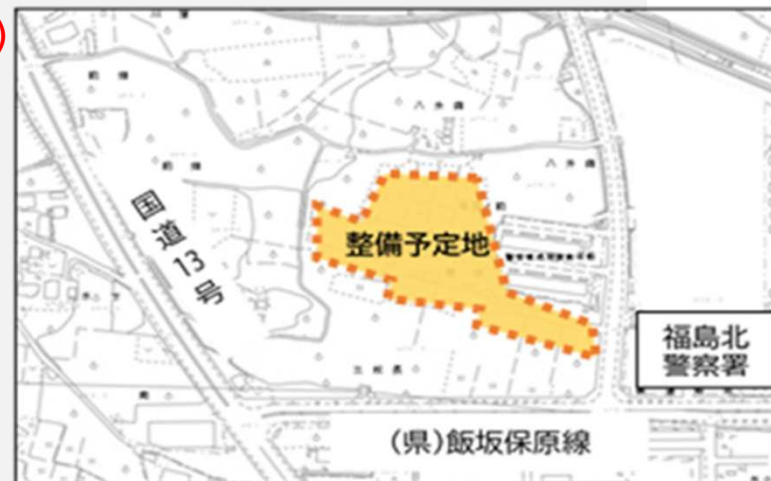
民間事業者の創意工夫やノウハウが発揮され、安全で安心な学校給食を安定的に提供

1 施設概要

| | |
|-------|--|
| 開設年月 | 令和8年4月予定 |
| 供給能力 | 1日あたり <u>10,000食</u> <u>2献立</u> に対応 食物アレルギーにも対応 (最大100食/日) |
| 対象校 | <u>30校</u> 児童生徒約 <u>8,700人</u> 西部・北部給食センターの受配校 18校 単独給食実施校 12校 |
| 整備予定地 | 福島市飯坂町平野字扇田8番地 他 |

2 今後の予定

| | |
|---------|-------------------------|
| 設計・建設期間 | 契約締結後 ~ 令和8年1月 |
| 開業準備期間 | 令和8年2月 ~ 3月 |
| 運営期間 | 令和8年4月 ~ 令和23年3月 (15年間) |



【その他議案 その②】

61 議案第 号 市道路線の認定の件

一般公共の用に供するため14路線を認定する。

(1) 路線数 8,011本 ⇒ 8,025本

(2) 市道延長 約2,965.5km ⇒ 約2,966.9km

62 議案第 号 包括外部監査契約の件

令和6年度の包括外部監査契約を締結する。

63 議案第 号 専決処分承認の件

急を要するので、地方自治法第179条第1項の規定に基づき市長が専決処分をしたものについて、承認を求める。

(1) 令和5年度福島市一般会計補正予算（専決第1号）

【報告】

1 報告第 号 専決処分報告の件

地方自治法第180条第1項の規定に基づき、市長が専決処分をしたものについて報告する。



令和5年度 3月補正予算の内容

(一般会計補正予算 第10号・第11号)

1. 年度末の整理予算

一般会計補正予算額

36億4,913万円

(単位 千円)

| | 事業費 合計 | 財源内訳 | | | | |
|--------|-----------|----------|------------|----------|--------|-----------|
| | | 国 | 県 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 補正第10号 | 47,077 | 20,590 | — | 23,700 | 2,787 | — |
| 補正第11号 | 3,602,051 | △763,803 | △1,191,147 | △806,700 | 84,584 | 6,279,117 |

【参考】令和5年度予算累計額(一般会計)

1,267億3,301万円

令和6年度 当初予算(案)の概要

～ beyondコロナの新しいステージへ ～



目次

| | | |
|----------------------------|---|----|
| I 予算編成の方針 | … | 3 |
| II 予算規模 | … | 4 |
| III 主な施策 | … | 5 |
| IV 将来にわたり持続可能な財政運営の推進(資料編) | … | 34 |

I 予算編成の方針



「第6次福島市総合計画」の将来構想とその実現に向けた6つの基本方針を基礎として、令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まる中で現れてきている市民生活や地域経済の上向きの流れを定着・強化し、beyondコロナの新しいステージが見えるよう、下記の8つの分野と取り組みに重点をおいて積極的に政策展開を図る予算を編成しました。

beyondコロナの新しいステージへ

1. 安全安心なまちづくり

2. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

3. 高齢者や障がい者、誰もが健康で元気に暮らせるまちづくり

4. 将来にわたり持続可能な産業の振興

5. 賑わいと文化・スポーツの振興

6. デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

7. ゼロカーボンの推進

8. 移住・定住の促進、女性活躍社会の形成

将来構想

人・まち・自然が奏でるハーモニー
未来協奏（共創）都市
～世界にエールを送るまち ふくしま～

基本方針

1. 子どもたちの未来が広がるまち
- 2.暮らしを支える安心安全のまち
3. 次世代へ文化と環境をつなぐまち
4. 産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち
5. 新ステージに向けて共創・挑戦・発信するまち
6. 効率的で質の高い行財政経営

II 予算規模

1 一般会計

1,177億円 (対前年比 +30億円、+2.6%)

- 仮置場返還等推進事業費（7.0億円）を除く予算額は、1,170.0億円で、9年連続の増加となる過去最高額の積極型予算（対前年比 +43.1億円、+3.8%）
- 個別事業で大きく事業費が増加したのは、令和6年度に完了予定の（仮称）市民センターの建設事業費（39.0億円増の54.4億円）

世界にエールを送るまち ふくしま



本市出身のイラストレーター小林沙羅さんに「世界にエールを送るまち」をデザインしていただきました。

2 特別会計

570億5,658万9千円 (対前年比 ▲9億円、▲1.5%)

- 国民健康保険事業費特別会計が9.3億円の減となる一方で、介護保険事業費特別会計が4.9億円、後期高齢者医療事業費特別会計が2.7億円の増
- 工業団地整備事業費特別会計が7.7億円の減

3 事業会計

243億6,309万2千円 (対前年比 ▲18億円、▲7.0%)

- 下水道事業費会計で、合流式下水道の改善事業が完了したことにより17.3億円の減

合計

1,991億1,968万1千円 (対前年比 +3億円、+0.1%)

Ⅲ 主要な施策



1. 安全安心なまちづくり

83億812万円

2. 子育てと教育で選ばれる
まちづくり

190億1,545万円

3. 高齢者や障がい者、誰もが健康
で元気に暮らせるまちづくり

178億6,408万円

4. 将来にわたり持続可能な
産業の振興

24億8,341万円

5. 賑わいと文化・スポーツの
振興

97億7,126万円

6. デジタル都市の形成と
地域経営のリノベーション

20億426万円

7. ゼロカーボンの推進

18億5,045万円

8. 移住・定住の促進、
女性活躍社会の形成

2億1,756万円

新 …… 新規事業

拡 …… 一部新規及び事業の拡充



1. 安全安心なまちづくり


- (1) 災害対策の強化
- (2) 消防力の充実強化
- (3) 生活環境の整備
- (4) 仮置場の原状回復と放射線からの安全安心確保

1. 安全安心なまちづくり


28事業 83億812万円

(1) 災害対策の強化


I 地震に強いまちづくり

- 2,455,554千円
(一部12月・3月補正計上済)
- 【**拡**】 住まいの耐震化促進
昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震診断・耐震改修に補助します。
能登半島地震を受け、3月から前倒しで受付を開始します。
 - 【**拡**】 ブロック塀等撤去支援
 - 【**拡**】 水道の老朽管更新
令和7年度末の基幹管路耐震適合率100%予定
※ 全国平均41.2% (R3末)
 - 下水道の老朽管更新
 - 橋りょうの長寿命化、等
- 



II 水害対策パッケージ

- 1,105,150千円
(一部12月補正計上済)
- 河川強靱化（河川改修）
 - 祓川浸水対策
 - 【**新**】 農業施設長寿命化・防災減災事業
市土地改良区や水利組合等が管理する農業施設改修を支援
 - 【**拡**】 田んぼダム … 新たに山口地区、大波地区で実施
 - 【**新**】 市道アンダーパス排水設備更新（計画策定）、等
- 


III 除雪力強化パッケージ

- 128,029千円
- 過去の大雪対応への経験を教訓として、「雪害」への総合的な対策強化を図ります。
- 除雪車運行管理システムの運用
 - 小型除雪機械購入費補助、等
- 

備えあれば憂いなし ～ 防災体制の強化 ～

- 【**拡**】 避難行動要支援者名簿の更新・個別避難支援プランの作成 52,337千円
 - 【**拡**】 地区防災計画策定の推進 4,673千円
(地区防災マップ5地区、地区防災計画3地区)
 - 【**新**】 防災無線の更新 11,777千円
 - 【**拡**】 防災情報システムの運用 23,561千円
 - 【**拡**】 ふくしま防災体験フェア 2,000千円
 - 【**新**】 災害復旧費の計上 150,000千円
気候変動で頻発する局地的豪雨による比較的小規模な災害に機動的に対応します。
- 
- 

(2) 消防力の充実強化

- 【**拡**】 消防本部・福島消防署の移転整備推進 292,519千円
令和10年4月の供用開始に向け、実施設計等を行います。
 - 【**新**】 消防力適正配置調査 5,620千円
迅速かつ的確な出動体制を実現する署所の最適な配置を調査します。
 - 【**拡**】 常備消防自動車（はしご車）の更新 248,193千円
 - 【**拡**】 高規格救急自動車の更新 38,372千円
- 

1. 安全安心なまちづくり

(3) 生活環境の整備

【拡】 あぶくまクリーンセンター 焼却工場再整備

令和10年4月の運転開始に向け、新焼却工場の実施設計を行い、建設工事に着手します。



292,000千円

○ あぶくま・あらかわクリーンセンター運営

2,179,506千円

【拡】 ごみ集積所適正管理の推進

720千円

- ごみ集積所のごみ散乱を防止し、地域環境の美化を推進します。
- 折り畳み式ごみネットの設置を新たに支援（上限2万円）
- 補助制限期間を短縮（5年→3年）

【新】 ごみ適正排出の推進

830千円

製品プラスチックのリサイクルに向けた実証実験や、使用済みの小型充電式電池の回収を実施します。



【拡】 ムクドリ・カラス対策

3,736千円

中心市街地における音声再生装置によるカラス対策を強化します。

○ 合併処理浄化槽設置・転換支援

71,739千円

【新】 道路の地域安全緊急対策

200,000千円

交通量の多い市道の舗装・外側線等の修繕や、緊急車両の通行や災害時の避難に支障をきたす道路の改良を集中的に行い、市民生活の安全向上を図ります。

○ 通学路等の交通安全施設整備

102,347千円

通学路の安全施設設置、歩道段差解消、道路標識や道路照明灯の更新等を実施します。

○ 福島交通飯坂線 第4種踏切安全対策

2,300千円

第4種踏切の安全対策として手動ゲート等の設置を支援します。

(4) 仮置場の原状回復と放射線からの安全安心確保

中間貯蔵施設への輸送が完了した仮置場の原状回復を行います。

○ 仮置場の原状回復と返還の推進

700,000千円

| 区分 | 設置箇所数 | R5末 返還完了見込み | R6末 返還完了見込み | 進捗率 |
|------|-------|----------------|----------------|------|
| 仮置場 | 34箇所 | 30箇所 | 34箇所 | 100% |
| 仮々置場 | 7箇所 | 7箇所 | 7箇所 | |
| 合計 | 41箇所 | 37箇所 | 41箇所 | |

放射線からの安全安心確保

○ 環境放射線量の測定

30,993千円

市内の公共施設等の環境放射線量を定期的に測定し公表します。
(公共施設等159箇所、公園557箇所)

○ 放射性物質吸収抑制対策

34,501千円

牧草などへのカリ肥料の散布や果樹の改植など、放射性物質の吸収抑制対策を支援します。

○ 放射線からの健康管理

60,919千円

○ 給食まるごと検査

55,135千円

○ 農産物・食品等放射能測定

55,613千円



食品等放射能の測定



空間放射線量の測定



2. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

- (1) 子育て支援の充実
- (2) 教育の充実

2. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

49事業 190億1,545万円

(1) 子育て支援の充実

I 子育てのための経済的支援

結婚から子どもが健やかに育つまでの間、切れ目ない経済的な支援を総合的かつ継続的に推進します。

6,524,615千円

0. 結婚新生活

市独自

- 結婚新生活応援（後掲）
- ① 住宅スタートアップ支援（所得制限なし）
 - 初年度15万円
- ② 家賃支援
 - 2年間
 - 最大年24万円
- ③ 住宅取得支援
 - 最大30万円



1. 妊娠～出産期

- 妊娠届時
5万円給付

市独自

- 妊婦健診15回無料

市独自

- 新生児聴覚検査無料

- 出生時
5万円給付

- 出産育児一時金
50万円給付

2. 乳幼児期

市独自

- 福島型給食
 - 質の高い給食
 - 給食費の約1/3を支援

市独自

- 0～2歳児の保育料を国基準額から軽減

市独自

- 第2子の保育料1/2
第3子以降は無料
(所得制限・年齢基準なし)

- 幼児教育・保育の無償化

3. 小学校

市独自

- 拡 福島型給食
 - 質の高い給食
 - 給食費の約4割を支援

市独自

- 拡 放課後児童クラブの利用料を軽減
 - 第2子 2,000円
 - 第3子以降 4,000円
 - 所得制限撤廃

4. 中学校

市独自

- 拡 福島型給食
 - 質の高い給食
 - 給食費の約4割を支援

5. 高校

市独自

- 奨学資金支給制度
 - 年5万円



市独自 国民健康保険税の軽減（未就学児と18歳以下の子2人目以降）

市独自 子どもの医療費18歳まで全額無料（窓口無償化）

児童手当 月額5,000円～15,000円

2. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

Ⅱ 子育て環境の整備

保育の質の向上

新 (仮称) もりあい認定こども園整備 100,900千円
幼児教育・保育の拠点となる公立認定こども園を整備します。令和8年4月の開園に向け、実施設計・工事を行います。



拡 保育の質向上に向けた研修 397千円

○ 特色ある幼児教育・保育の推進 8,573千円
特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設を支援し、豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を応援します。

○ 放課後児童クラブ支援員等処遇改善 202,728千円

多様な保育の提供

新 こども誰でも通園モデル 4,879千円
保育所等を利用していない子どもの定期的な預かりを3施設で実施

拡 休日保育の実施 9,595千円
私立1施設に加え、R6は公立1施設で実施します。

○ 医療的ケア児受入保育 791千円

新 病児・病後児対応型保育 (新たに2施設が開設) 31,916千円

○ 病児・緊急時の子ども預かり 17,500千円

拡 子育て施設の運営 9,122,896千円

○ 地域子育て支援拠点の運営 243,918千円

拡 放課後児童クラブの運営 (94クラブ→97クラブ) 751,276千円

待機児童対策推進パッケージ

307,003千円

- 拡** 児童福祉施設等整備 (私立保育2施設の改築支援)
- 拡** 私立幼稚園預かり保育支援 (8園→9園)
 - 幼稚園送迎ステーション
 - 保育士宿舍借り上げ支援
 - 保育支援員雇用支援
 - UIJターン保育士等就労支援
 - 保育士等奨学資金貸付
 - 保育士するなら福島市！プロモーション
 - 輝け！保育人財活躍促進、等



子育ての負担軽減

拡 福島型給食の推進 562,935千円

- 子育て世帯の負担を軽減するとともに、栄養バランスの取れたおいしい給食を提供します。
- 食材価格の高騰に対応するため、R6は給食費の約4割の1食あたり130円を支援します (R5当初：100円→R6：130円)。

拡 放課後児童クラブ多子世帯利用料補助 **所得制限撤廃** 43,704千円

○ 保育施設多子世帯負担軽減 154,388千円
すべての世帯で第2子以降の認可保育施設の保育料を軽減します。

新 子どもの医療確保対策【後掲】 46,550千円
小児科診療所の新規開設支援、休日小児科の確保

新 子育て世帯・ヤングケアラー訪問支援 1,867千円

○ 子どもの居場所づくりと子ども食堂運営支援【一部後掲】 5,700千円

2. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(2) 教育の充実

学力の底上げと個性を伸ばす質の高い学校教育を展開するとともに、不登校児童生徒への対応、学校施設の改修など学びの環境を充実し、地域の未来を担う子どもたち一人ひとりの学びと健やかな成長を支えます。

I 学校教育の質向上

- 拡** 福島型オンライン授業 394,669千円
指導者全員に専用端末を配置し、ICTを活用した学びを日常的に授業に取り入れます。
- 読解力向上推進 909千円
- 学力向上サポート 11,091千円
- 外国語教育推進 108,130千円
- 福島型個性をのばす教育 3,475千円
本市ゆかりの著名人や地元企業と連携して、スポーツや文化芸術など各学校で特色ある教育を行い、可能性に挑戦する子どもを育成します。
- 学校図書館のICT化 26,958千円
1人1台タブレットを活用して、児童生徒の読書活動や家庭学習の質の向上を支援します。
- 学校図書館の図書整備 14,630千円
- 頑張るふくしまっ子復興夢応援 1,500千円
- 中学生ドリームアップ（キャリア教育の推進） 6,787千円
- 拡** 部活動指導体制整備 7,961千円
中学校の部活動において、指導員の配置拡充や競技団体と連携した週末合同練習会を実施し、部活動の段階的な地域移行を進めます。



II 学びの環境の充実

- 拡** 小中学校の適正規模・適正配置 29,126千円
中央地区の小学校の再編のあり方を検討します。
- 拡** 松陵中学校（松川地区義務教育学校）整備 370,610千円
本市初の義務教育学校開校へ向け校舎改築工事などを行います。（令和7年4月開校予定）
- 学校施設のリフレッシュ 329,520千円
校舎の屋上防水や外壁改修などによる長寿命化をスピードアップして実施します。
- 学校トイレの改修・バリアフリー化 80,000千円
- 新** 福島第二小学校エレベーター設置 6,000千円
肢体不自由学級を設置している福島第二小学校にエレベーターを新設します。令和6年度は調査・設計を実施します。
- いじめ・不登校対策推進 8,501千円
- 特別支援教育推進 226,607千円
- 拡** 公立夜間中学の開校 5,376千円
県内唯一の公立夜間中学「天神スクール」を4月に開校します。
- 新** 海外チャレンジ応援 2,500千円
自らの夢や目標に向かって海外での研修等にチャレンジする中学生・高校生を支援します。



3. 高齢者や障がい者、誰もが健康で 元気に暮らせるまちづくり

- (1) 健都ふくしまの創造
- (2) 高齢者元気の創造
- (3) 地域医療の充実
- (4) 共生社会の推進

3. 高齢者や障がい者、誰もが健康で元気に暮らせるまちづくり

37事業 178億6,408万円

(1) 健都ふくしまの創造

三本柱で人生100年時代を見据えた 健康づくりを推進



- **健都ふくしま創造事業** 19,460千円
- 特定健康診査の推進 234,256千円
- **がん検診の推進** (乳がん検診受診機会の拡大) 676,793千円
- **定期予防接種の推進** 976,583千円

新型コロナウイルスワクチン接種が令和6年4月から有料になります。
 ・高齢者には自己負担を軽減します。(自己負担額 7,000円→2,100円)

(3) 地域医療の充実

- **子どもの医療確保対策** 46,550千円

- 小児科診療所の新規開設を支援 (1箇所)
- 夜間休日急病センターやオンライン診療を活用した休日小児科の確保



救急医療体制の充実

- 救急告示病院運営費補助 239,776千円
- 休日夜間輪番制救急医療体制確保事業 113,421千円
市内11の病院の輪番制による二次救急医療体制の確保を支援
- 福島県立医科大学との連携による医療体制の強化 60,000千円

(2) 高齢者元気の創造

- **高齢者の公共交通利用助成** 311,646千円
令和7年度からタクシー利用も選択できる新制度へ移行する準備を進めます。
- 高齢者の路線バス等利用促進 166,198千円
- 地域で支える交通支援 6,000千円
地域住民が自ら計画・運行する「小さな交通」を伴走型で支援
- 元気高齢者の介護の仕事への参入支援 770千円
- **介護人材確保による介護サービスの安定** 7,370千円
- シルバー人材センター活動支援 10,556千円
- いきいきももりん体操講座 1,003千円
- 地域包括ケアシステムの推進 508,184千円
- **高齢者の定期予防接種の促進**【再掲】 自己負担を3割に軽減 392,250千円



| 種類 | 接種費用 | 軽減後の自己負担 |
|--|--------|----------|
| ● 新型コロナ | 7,000円 | 2,100円 |
| ■ インフルエンザ | 5,043円 | 1,500円 |
| ■ 肺炎球菌 | 8,481円 | 2,500円 |

- 介護保険・後期高齢者医療費負担 8,130,898千円
- 診療所の運営 237,308千円
(夜間休日急病センター、休日救急歯科診療所、茂庭診療所)
- 休日在宅当番医制運営 4,762千円
- 医師確保、臨床研修支援等 32,827千円

3. 高齢者や障がい者、誰もが健康で元気に暮らせるまちづくり

(4) 共生社会の推進

I バリアフリーの推進

障がいの有無や性別、年齢等にかかわらず、だれもが地域で安心して暮らせるよう、ソフト・ハード両面の取組を推進します。

拡 バリアフリー推進パッケージ

29,546千円

- バリアフリー推進パートナーミーティングの開催

- ヘルプマーク・ヘルプカード普及推進

拡 いきいき！ふくしマーケット

「ふくしま圏域 いきいき！ふくしEXPO」開催

- ボッチャ普及推進
- 歩道点字ブロック・シート設置
- ユニバーサルデザインのまちづくり推進、等



○ 包括的支援体制の整備

31,557千円

対象者の属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施します。

II 障がい児・者福祉の推進

○ 障がい福祉サービスの充実

5,553,993千円

拡 障がい者相談支援センターの開設

60,483千円

障がいの種別によらず相談できるワンストップ窓口を6箇所開設します。

(4箇所：身体・知的・精神・障がい児→6箇所：総合5・障がい児1)

○ 自立支援医療

285,200千円

○ 計画相談支援推進

9,600千円

○ こども発達支援センターの運営

53,286千円

III 多文化共生の推進

○ 多文化共生センター Yuiverse の運営

10,495千円

○ 外国人生活相談

4,675千円

○ 国際交流員配置

4,915千円

拡 外国にルーツを持つこどもの日本語サポート

3,519千円

教員免許を持つ日本語指導コーディネーターを配置し、外国にルーツを持ち日本語の理解が困難な子どもに日本語教育を実施します。

○ 結・ゆい・フェスタ開催

1,800千円

拡 国際交流事業支援

5,700千円

本市が東京2020のホストタウンだったベトナムとの交流を拡大します。



新 パートナーシップ制度の推進

100千円

令和6年度中にパートナーシップ制度を導入するとともに、周知・啓発を図ります。

拡 公立夜間中学の開校【再掲】

5,376千円

県内唯一の公立夜間中学「天神スクール」を4月に開校します。



IV 動物との共生

○ 動物愛護推進

19,254千円

○ ペット同伴避難所の体制整備

222千円



4. 将来にわたり持続可能な産業の振興

- (1) 農林業の振興
- (2) 商工業の振興

4. 将来にわたり持続可能な産業の振興

32事業 24億8,341万円

(1) 農林業の振興

I 農業の振興

令和6年度から、農山漁村再生可能エネルギー法により設置された太陽光発電事業の売電収入からの寄附金を原資とした農林業振興基金を活用します。

- 新** 地域でつくる農林業振興基金事業【提案枠】 51,500千円
3戸以上の農業団体等による地域課題の解決に向けた取組を支援
- 新** スマート農業実装支援 15,000千円
農作業効率化・生産性向上につながるスマート農機具の導入を支援
- 新** 脱炭素設備導入支援 4,800千円
農家の事業用の太陽光発電システム導入を支援
- 新** 切らずにつなぐ樹園地継承 4,570千円
後継者のいない樹園地を新たな担い手に継承しやすくする仕組みづくりを行い、樹園地の保護と遊休農地発生を防止を図ります。
- 拡** 脱炭素・循環型農業支援 17,882千円
 - 新** 先導的な循環型農業をモデル事業として支援
 - 拡** 施設園芸エネルギー転換支援
 - 拡** 剪定枝等を炭に変えて土壌改良。炭化器購入を助成。
 - 果樹剪定枝まきストーブ等マッチング
- 拡** 気候変動適応型農業支援 10,000千円
新たに農地の渇水・高温対策として自動灌水装置導入等を支援します。
- 拡** 農業施設の改修 43,500千円
- 拡** 鳥獣被害対策強化 61,339千円
侵入防止柵の補助対象にネット柵を追加します。
- 拡** ツキノワグマ被害特別対策 5,158千円



II 新規就農支援

拡 新規就農支援パッケージ 174,415千円

| 支援項目 | 内容 |
|-------------------|---|
| 農業体験支援 | センパイ農家さんが指導者となり農業体験を受け入れ |
| 農業メンターによるサポート | センパイ農家さんがフレッシュ農家さんをサポート（最長2年） |
| 拡 農業経営開始支援 | 月額5万円・夫婦は7万5千円（最長2年） |
| 新規就農者育成総合対策 | 年間最大150万円、夫婦は225万円（最長3年） 機械・施設等導入経費の3/4（上限750万円） |
| 農地流動化支援 | 【賃貸借】年間賃借料の1/2（3年間） 【所有権移転】10aあたり2万円（どちらも上限20万円） |



III 販売拡大・ブランド力向上

- 拡** ふくしまの農産物魅力アップ 4,543千円
フルーツの詰め合わせに最適なF-BOXで販売を促進します。
- 「ゆうやけベリー」ブランド化推進 6,000千円
福島県オリジナル新品種「ゆうやけベリー」の生産設備を支援するとともに、ブランドとしてのイメージアップを図ります。
- スイーツ・プレミアム販売促進 4,000千円
- 福島駅前軽トラ市開催 6,000千円
- ふくしま森林再生事業【後掲】 143,080千円
- 公設地方卸売市場の再整備推進 25,008千円



4. 将来にわたり持続可能な産業の振興

(2) 商工業の振興

I 地場企業の振興

新 新製品・新技術開発支援 20,080千円

- 補助率1/2、上限50万円
- 医療福祉機器等、ロボット・航空：補助率3/5、上限300万円
- 食品加工：補助率3/5、上限100万円

新 ものづくり企業応援 3,000千円

市内企業の開発製品を市が購入・利活用し認知度向上や販路拡大を応援

新 凍み豆腐事業継承推進 2,000千円

福島大学と連携して温暖化に適応した製法を調査研究し、生産技術の向上により事業継承を推進します。



○ 次世代後継者育成「夢創塾」 990千円

○ 圏域9ビジネスマッチング開催 1,800千円

○ 中小企業振興資金融資 722,000千円

○ 中小企業ゼロカーボン資金融資 410,500千円

II 新規創業支援

○ 創業応援利子補給パッケージ 5,200千円

利子補給の内容

| | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1) 創業応援利子補給（全額補助） | 創業融資に係る利子を1年間 中心市街地での創業は2年間 |
| 2) 女性のための創業応援利子補給 | 創業融資に係る利子を2年間全額補助 |

III 企業誘致の推進

拡 企業誘致の推進 10,018千円

- トップセールス
- 企業立地セミナー開催等

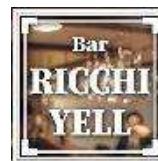
○ 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援 5,750千円

新 産業用地確保基礎調査 7,200千円

企業立地の意向調査を基に、新たな産業用地の規模や候補地を検討します。

拡 福島おおぞらインター工業団地 第2期整備 690,500千円

造成工事を進め、年度内に第1工区の方譲予約を開始します。



【第2期 全体計画】

- ① 開発面積 約20ha
- ② 用地取得面積 約19ha
- ③ 分譲面積 約16ha



○ 創業支援トップセールス 400千円

○ 新規創業者への経営指導支援 1,100千円

○ 街なかチャレンジショップ支援 7,939千円

○ クリエイティブビジネスサロン運営 18,138千円



5. 賑わいと文化・スポーツの振興

- (1) 街なかの活性化
- (2) 中心市街地のまちづくりと公共施設の再編整備
- (3) 観光対策の強化
- (4) 古閑裕而のまちづくり
- (5) 歴史・文化と調和したまちづくり
- (6) スポーツのまちづくり
- (7) シティセールス

5. 賑わいと文化・スポーツの振興

49事業 97億7,126万円

(1) 街なかの活性化

街なか出店の促進

令和6年度からは空き店舗に限らず、新規出店にも支援します。

拡 街なか出店家賃補助 85,091千円

| 対象エリア | 区分 | 補助率 | | |
|-------------------------|--------------------------|------|------|------|
| | | 1年目 | 2年目 | 3年目 |
| 中心市街地 空き店舗 重点対策地域 | アパレル産業 クリエイティブ産業の新規創業 | 8/12 | 6/12 | 4/12 |
| | その他 | 6/12 | 4/12 | 2/12 |

拡 新規出店のための内外装工事等補助 (対象エリアも拡大) 30,000千円

| 対象エリア | 補助率 | 上限額 | | |
|--------------|---------------|--------|----------|--------|
| 新規出店 誘導区域 | クリエイティブ産業 1/2 | 100㎡未満 | 100~200㎡ | 200㎡以上 |
| | その他 1/3 | 100万円 | 200万円 | 300万円 |

新 街なか店舗等整備支援 10,000千円

- 商業・オフィス・医療など都市機能を集積する施設の整備を支援
- 対象施設整備のための借入額の7/100を交付 (上限5,000千円)

拡 商店街等活性化イベント支援 36,000千円

4~7月のイベント開催、複数日のイベント開催を手厚く支援します。

○ 街なかにぎわい創出 33,176千円

- 「街なか交流館」を拠点とした活動・交流
- プラットフォームを介した連携とイベント情報発信
- 学生が参画するイベントの伴走型支援

○ 街なかテーマパーク開催 10,000千円

(2) 中心市街地のまちづくりと公共施設の再編整備

風格ある県都を目指すまちづくり

新 福島駅周辺まちづくり検討推進 4,630千円
福島駅周辺の東西の一体的なまちづくりについて検討します。

○ 福島駅東口地区市街地再開発支援 1,536,730千円
事業の核となる福島駅東口の再開発事業を国・県とともに支援します。

○ (仮称) 市民センター整備 5,435,072千円

中央学習センター・市民会館等を複合化した施設を整備します。

- 市民交流機能
- 議会機能
- 防災機能

令和6年度中オープン (予定)



新 ほこみち社会実験 5,000千円

吾妻通りを活用して、日常的な憩い・賑わいの空間づくりをする社会実験を行い、新たな道路空間の利活用を検証します。

○ まちなか広場等の管理運営 5,226千円

○ ももりんシェアサイクルの運営 17,671千円

○ パークアンドライドの運営 4,000千円

5. 賑わいと文化・スポーツの振興

(3) 観光対策の強化

テーマ観光の推進

花 観 光

91,041千円

本市ならではの花の光景、桃源郷ツーリズムの推進

- 春の花見山おもてなし
- ふくしま花回廊推進
- 花ウォーク・ツデーマーチ開催支援

新 信夫山公園開園150周年記念

桜の名所でもある信夫山公園が開園150周年を迎えるのを記念して、官民連携でさまざまなイベントを開催します。



あづま山麓エリア観光

57,851千円

吾妻連峰に抱かれたエリアの多様なコンテンツを活かした観光を推進

- 吾妻五葉松ツーリズム

外国人にも人気のコンテンツを軸にツアー商品を企画造成

新 蔵元ツーリズム … 5つの醸造所を結んだ周遊観光の促進

- 磐梯吾妻ヒルクライム大会支援
- 四季の里整備（一部12月補正で計上済）



ふくしまの空観光

66,290千円

空にまつわる観光コンテンツを磨き上げ

- ふくしまスカイパークの活用推進
- 浄土平天文台の活用推進

新 UFOの里づくり

国内初のUFO研究所を設立したり、宇宙初の奇祭「UFOフェスティバル」を開催するなど、ユニークな飯野地区のUFOのまちづくりを全市的な視点から推進します。



温泉地活性化

- 温泉地活性化推進

15,000千円

- 福島三名湯ブランディング

福島が誇る三名湯について他の温泉地との差別化を図り、全国的な地位向上を目指します。



6,000千円



- 公衆浴場の運営

- 飯坂温泉の鯖湖湯ほか8浴場
- 土湯温泉の中之湯
- 高湯温泉のあったか湯



108,280千円

- 拡 「ふくしまステイ。」プロモーション

11,154千円

- 拡 インバウンド誘客プロモーション

10,812千円

- ロケツーリズム推進

1,862千円



道の駅ふくしまを核とした地域振興

- 道の駅ふくしま運営

地域情報の発信や新たな販路開拓の場等を提供し、地域振興の拠点としてにぎわいの創出と交流人口の拡大を図ります。

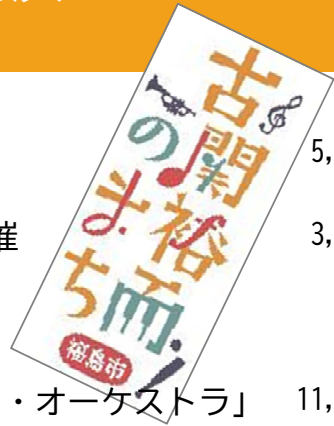


52,501千円

5. 賑わいと文化・スポーツの振興

(4) 古関裕而のまちづくり

- 「古関裕而記念音楽祭2024」の開催 5,000千円
- 拡 「ふくしまちなか音楽祭2024」の開催 3,000千円
 まちなか広場や福島駅前広場などを舞台にした市民参加型の音楽祭を開催します。
- 拡 「古関裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動支援 11,902千円
 年3回の定期演奏会とクリスマスコンサートをサポートします。
- 新 「古関裕而杯 第1回福島県中学女子軟式野球大会」の開催 500千円
 東北の中学女子軟式野球チームによる大会を開催します。
- 拡 メロディーバスの運行 20,486千円
 運行中の「あかメロディーバス」に加えEVの「あおメロディーバス」も登場！路線バス、イベントや観光で運行します。
- 古関裕而記念館の運営 30,142千円
- エールレガシー事業 4,473千円
 連続テレビ小説『エール』で生まれた観光資源を活用して市の魅力を発信します。
 - ロケ地PR
 - まち歩きマップ
 - ロケハンツアー



(5) 歴史・文化と調和したまちづくり

- 文化振興計画の策定 492千円
文化振興条例に基づき、本市の特色ある文化を守り、持続的に発展させる取り組みを推進します。
- ふくしま文化芸術振興事業 26,448千円
市民が質の高い文化芸術に触れる機会を提供します。
 - NHK交響楽団コンサート
 - パイプオルガンクリスマスコンサート・講習会
 - 古関裕而記念館サロンコンサート、など
- 拡 旧広瀬座再整備 433,002千円
 国指定重要文化財である旧広瀬座の保存修理、耐震補強、設備改修を実施します。(令和7年度完成予定)
- 民家園の活用推進 60,660千円
 - 園内の古民家等の修繕・改修
 - 地域と共創で園内行事を実施し、魅力を発信
- じょーもぴあ宮畑の活用推進 7,705千円
- 写真美術館の活用推進 38,899千円
大正時代の建築ならではの雰囲気を活かした写真展等を開催します。
 - 春の花見山シーズンに合わせた秋山庄太郎展、など
- アートストリートふくしまの開催 500千円



5. 賑わいと文化・スポーツの振興

(6) スポーツのまちづくり

○ 「ふくしまシティハーフマラソン2024」の開催 52,000千円

県都ふくしまの中心市街地を駆け抜けるハーフマラソンの第2回大会を開催

- 5月19日（日）
- 誠電社WINDYスタジアム（信夫ヶ丘競技場）スタート



拡 福島ユナイテッドFC と連携した賑わいの創出 14,644千円

○ スポーツコミッションを通じた合宿・大会誘致 10,867千円

スポーツ団体、観光団体、障がい者関係団体など一体となり、スポーツを通じた地域活性化に取り組みます。

- 荒汐部屋の福島合宿開催を支援



○ パラスポーツの振興 968千円

- 東京2020パラリンピックで注目を集めたボッチャ競技の市長杯などを開催

拡 スポーツ施設の改修 220,152千円

- 市民が安全にスポーツを楽しめる環境を整備します。
- 信夫ヶ丘球場の防球ネット設置
 - 福島トヨタクラウンアリーナの照明LED化、など

○ スポーツ施設の管理運営 473,600千円

(7) シティセールス

○ 福島市応援関係人口の創出 3,499千円

本市ゆかりの首都圏在住者・経済人等との交流を行い、関係応援人口の拡大を図ります。



○ ふるさと納税促進事業 695,390千円

本市のまちづくりに賛同と共感を得ながらファン拡大を図ります。

○ シティセールスの推進 2,250千円

マーケティングデータ分析ツールの活用とSNS等による情報発信を仕掛け、本市の認知度向上とファンの拡大を図ります。

新 「納豆のまち福島」ブランド化推進 2,000千円



納豆の年間消費額日本一からの陥落にめげず、「納豆のまち福島」のブランド化をネバリ強く推進します。

- 食べ歩きガイドマップ作成
- 「納豆の日」に合わせた納豆ウィークイベント開催

新 公民連携の推進 3,500千円

連携・調整窓口「公民こねくと」を設置し、民間事業者等からの提案を生かした地域課題解決のための取り組みを推進します。



○ ふくしまMICEパッケージ 15,793千円

MICE誘致と開催支援を行います。



6. デジタル都市の形成と 地域経営のリノベーション

- (1) デジタルで市民サービスの向上と行政の高度化・効率化
- (2) デジタルで市民生活を豊かにするまちづくりと産業振興
- (3) 「共創」によるまちづくり
- (4) 持続可能な行財政経営

6. デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

39事業 20億426万円

(1) デジタルで市民サービスの向上と行政の高度化・効率化

I 市民サービスの向上

- 新** ホームページリニューアル 30,376千円
スマートフォンでも見やすい閲覧性、ページ検索性の向上を重点にリニューアルを行います。
- マイナンバーカード取得促進 140,874千円
- 拡** LINEの活用推進 5,261千円
LINEを通じて情報発信、市民通報、各種イベント等予約
市民通報のカテゴリーを拡充
- テレビのdボタンを活用した情報発信 960千円
- おくやみ窓口の運営 539千円
- 新** 母子保健スマート窓口推進 4,276千円
スマートフォンから妊娠届出、妊娠8ヶ月アンケート、乳幼児健診の予約をできるアプリを導入します。
- 新** (仮称) 市民センター等予約システムの導入 33,496千円
 - WEBで施設予約
 - キャッシュレス決済
- 新** (仮称) 市民センター フリーWi-Fi整備 787千円



II 高齢者にもやさしいデジタル化

デジタル活用が不得手な方でもデジタル化の恩恵を受けられるよう丁寧にサポートするとともに、市民相互に学びあう活動を促進します。

- 拡** 高齢者デジタル活用サポート 10,000千円
 - スマホ活用支援講座の開催
 - ・ サポーターを配置した独自の細やかな支援
 - デジタルサポートデスクの開設
 - ・ 本庁、アオウゼに加え、6地区に開設
 - シニアICTサポーターの育成
 - シルバー人材センターICT班との連携
 - 地域におけるデジタルクラブの立ち上げ




III 行政の高度化・効率化

- 拡** 総合防災情報システム運用【再掲】 23,561千円
新たにSNSからの情報収集システムを構築します。
- 電子入札システムの運用 8,705千円
- 文書管理システムの運用 24,245千円
- 新** 文書生成AIの導入 924千円
文書生成AIを導入し、業務効率化を図ります。

6. デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション


(2) デジタルで市民生活を豊かにするまちづくりと産業振興

I 市民生活の向上

- 拡** 健康づくりで競争（共創）チャレンジ 2,012千円
 アプリでの参加が多い地区には交付金を加配します。
 - 12誘導心電図伝送システムによる救命率向上 343千円
 - 見守り機能の充実 3,516千円
 児童保育での見守り、認知症高齢者の見守り
 - 保育所・幼稚園の登園管理システム運用 14,204千円
 - 学校・保護者間連絡用アプリの運用 2,645千円
 - 福島型オンライン授業【再掲】 394,669千円
 - 学校図書館のICT化【再掲】 26,958千円
 - 電子図書館運用 5,000千円
 - こむこむ館デジタルコンテンツの運用 16,698千円
 - 巨大スクリーン上の自分の分身を操り、音や動きを楽しむAR空間
 - 砂の形状によって海、山、動物が現れるAR砂場
- 
- デジタルスタンプラリーの開催【一部再掲】 30,749千円
 - ふくしま花回廊
 - ふくしま田園観光圏

II 経済の向上

- デジタル人材バンクの運用 500千円
 - 新** 3Dデジタル都市計画情報の構築 54,820千円
 - 都市計画図の更新に合わせて3Dデータ化（令和6～7年度の2ヶ年で整備）
 - デジタル時代の公共インフラとしてオープンデータ化個人、民間事業者による活用が可能になります。
 - 新** スマート農業実装支援【再掲】 15,000千円
 - クリエイティブビジネスサロン運営 18,138千円

シェアオフィス、コワーキングスペース、ミーティングルームを備えたビジネス環境を提供します。
- 
- 拡** 新規出店誘導区域におけるクリエイティブ産業の集積【再掲】 30,000千円

新規出店誘導区域に進出するクリエイティブ産業事業者を支援し、都市型創造産業の集積を目指します。

| 対象エリア | 補助率 | 上限額 | | |
|----------|--------------------------|--------|----------|--------|
| | | 100㎡未満 | 100～200㎡ | 200㎡以上 |
| 新規出店誘導区域 | クリエイティブ産業 1/2 その他 1/3 | 100万円 | 200万円 | 300万円 |

6. デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

(3)「共創」によるまちづくり

- 電子町内会の推進 694千円
- 地域コミュニティ等活動支援 17,020千円
 地域の裁量により用途を決定できる「共創のまちづくり枠」を新設し、地域の主体的なコミュニティ活動を応援します。
- ふくしま元気トークの開催 114千円
- こくりナビプロジェクト 267千円
 若者が主体性を持ちながら地域活動や市の事業に参加できる仕組みを導入し、若者が活躍するまちづくりを推進します。



● 地域おこし協力隊 令和6年度は2地区増の8地区での活動を予定しています。 45,249千円



飯坂地区
(宮司)

飯野地区
(近野)

大波地区
(大澤)

土湯温泉町地区
(中風)

吾妻地区
(土屋)

(4) 持続可能な行財政経営

- 新総合計画の策定 5,149千円
 令和8年度を始期とする新たな総合計画の策定に着手します。
- 公民連携の推進【再掲】 3,500千円
- 連携中枢都市圏の形成による広域的発展【一部再掲】 647,228千円
 <実施する主な事業>
 - LINEを活用した子どもの遊び場情報発信
 - 福島ユナイテッドFCと連携した小学生サッカー交流大会
 - 圏域周遊による移住定住ツアー、婚活イベント
 - 新たなビジネス創出や新規取引拡大を促進するビジネスマッチング
 - 圏域の観光資源を活用した教育旅行や広域周遊の推進と情報発信
- 障がい者施設が提供する製品とサービスの見本市
- 水道施設の運転管理業務の共同発注

- 都市間交流の推進 990千円
 物産や観光を通じた交流などにより本市の魅力発信と交流人口及び関係人口拡大
 - 東京都荒川区（友好都市）
 - 愛知県豊橋市（パートナーシティ）
 - 山口県山口市（交流都市）
- 産学官連携プラットフォームの推進 1,000千円
 産業界・市・大学等による連携体制を活用し、若者の地元定着や人材育成等の地域課題解決に取り組みます。
- システムの標準化とガバメントクラウドへの対応 383,793千円
 - 住民記録、税、保険、福祉などの20の基幹業務のシステムを国の標準仕様に合わせるとともに、ガバメントクラウドに移行
 - 効率的な維持管理と簡素な行政手続きの実現を図る
 - 令和7年度末までに各業務システムを順次移行



7. ゼロカーボンの推進

- (1) 再生可能エネルギー活用・省エネ化の推進
- (2) 森林整備、木材利活用の推進
- (3) ごみ減量化の推進

7. ゼロカーボンの推進

20事業 18億5,045万円

(1) 再生可能エネルギー活用・省エネ化の推進

I 事業者向け支援

- 中小企業ゼロカーボン資金融資 410,500千円

再エネ・省エネ設備導入を促進するため、市独自の融資制度で支援します。

| 用途 | 貸付限度額 | 貸付期間 | 利率(予定) | 信用保証料 |
|------|---------|-------|--------|------------------|
| 設備開発 | 5,000万円 | 10年以内 | 1.5%以内 | 補助率2/3 上限50万円 |
| 設備投資 | | 15年以内 | 2.0%以内 | |

- 再生可能エネルギー（小水力）導入促進 500千円

- 新** 農家の脱炭素設備導入支援【再掲】 4,800千円

- 拡** 脱炭素・循環型農業支援【再掲】 17,882千円

II 家庭向け支援

- 脱炭素住宅整備促進 37,300千円

住宅への太陽光発電設備などの設置に補助します。

| 対象設備 | 支援内容 |
|-----------|-----------------|
| 太陽光発電システム | 4万円(定額) |
| 蓄電池 | 1万円/kwh(上限10万円) |
| HEMS | 1万円(定額) |
| 家庭用EV充電設備 | 設置費用の1/3(上限2万円) |
| V2H機器 | 10万円(定額) |



- 脱炭素生活スタイル普及啓発 1,000千円

III 公共施設での活用推進

- 公共施設の省エネ改修 158,551千円

公共施設の照明のLED化を推進します。

- 北信支所・学習センター
- 信夫支所・学習センター
- 福島トヨタクラウンアリーナ（国体記念体育館）

- 街路灯・道路照明灯のLED化推進 153,100千円

- 街路灯1,300灯、道路照明灯430灯を改修

- 拡** 公用車のエコ化 26,450千円

- 令和6年度はEV4台・HV2台購入、充電設備4基設置

- 新** (仮称) 市民センターへの 105,200千円

太陽光発電・水素発電設備の設置【再掲】

- 新** こむこむ館の屋根改修 145,000千円

熱反射に優れ放熱もするアルミ製瓦棒葺屋根に改修し、冷暖房の電気使用量を削減します。
(令和8年度には照明のLED化も予定)

- 飯坂町財産区保有施設最適化推進 99,792千円

源泉からの湯湯設備を水中ポンプ化し、CO2排出量と電気使用量の削減を図ります。

- 水素活用の普及推進 1,600千円

FCV(水素自動車)の購入に対して最大20万円を補助します。

7. ゼロカーボンの推進

(2) 森林整備、木材利活用の推進

I 森林整備

○ 森林の適切な経営管理の推進

- 森林所有者への意向調査
- 経営管理権集積計画の作成
- 計画に基づく森林整備
(R6は吾妻地区20haを予定)



51,490千円

○ ふくしま森林再生事業

間伐や下草刈、路網整備を一体的に実施します。
(東部、西、飯坂、吾妻)

143,080千円

○ 林業専用道路の整備

吾妻地区の林道を整備します。(上古屋線)

18,000千円

○ 森林病虫害被害防止対策

22,659千円

II 普及啓発

○ 森林環境学習の推進

森林環境についての体験学習や観察学習などを推進します。

- 小学校37校、特別支援学校1校で実施予定



8,157千円

III 木材利用促進

Ⅱ 旧広瀬座再整備事業(再掲)

旧広瀬座の保存改修等に併せて、木造のトイレ棟を新設し、利用しやすい環境を整備します。
(令和7年度完成予定)



433,002千円

(3) ごみ減量化の推進

Ⅱ Ⅱ ごみ減量化促進対策

【生活系ごみ】 市民1人1日あたりの生活系ごみ排出量(資源物除く)を530g以下とすることを目標に、ごみ減量化・資源化を促進します。

- キーロ※の手法普及
- ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の普及
- 生ごみ処理容器購入費助成
- 食品ロス削減マイスター研修

【事業系ごみ】 「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」を安く提供する店舗と市民とをマッチングする「ふくしまタバスケ」を実施し、食品ロスの削減を目指します。

12,385千円



※キーロ葉山の登録商標です。



8. 移住・定住の促進、 女性活躍社会の形成

- (1) 移住の積極的推進
- (2) 結婚・定住しやすい環境整備
- (3) 女性活躍の推進



8. 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

16事業 2億1,756万円

(1) 移住の積極的推進

○ 移住コーディネーターによるサポート 4,996千円

拡 ふくしま定住推進

- 移住関連イベントでのPR
- 移住ガイドブックの刷新
- プレ移住体験や移住希望者へ宿泊費補助



○ 広報推進 3,894千円

○ 新生活応援 9,911千円

○ U I J ターン移住支援 31,100千円

拡 空家等対策推進（移住者の空家リフォームを補助） 46,064千円

移住者、新婚・子育て世帯による空家バンクに登録された空家のリフォームを支援します。

| 対象者 | | 支援内容 | | 支援額 |
|----------|----|-------------------|----------------|---------|
| 移住者 | 県内 | 補助率1/2 上限150万円 | — | 最大150万円 |
| | 県外 | | (加算額) +20万円 | 最大170万円 |
| 新婚・子育て世帯 | | | | |

○ クリエイティブビジネスサロン運営【再掲】 18,138千円

○ 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援【再掲】 5,750千円

(2) 結婚・定住しやすい環境整備

○ 出会いの場創出 4,713千円

○ 結婚新生活応援 結婚世帯のスタートアップを支援します。 74,040千円

| 区分 | 補助額(最大) | | 所得制限 |
|----------------------------------|-------------------|------|---------|
| | 1年目 | 2年目 | |
| 住宅スタートアップ支援 (賃貸住宅初期費用、引越費用支援) | 15万円 | - | なし |
| 家賃支援 | 24万円 | 24万円 | 500万円未満 |
| マイホーム購入・リフォーム支援 | 3年目までの取得で 30万円 | | |

新 わかもの住まい支援 1,200千円
民間賃貸住宅を活用し、新婚・子育て世帯を対象とした家賃支援を実施

拡 空家等対策推進（新婚・子育て世帯の空家リフォーム補助）【再掲】 46,064千円

(3) 女性活躍の推進

拡 働く女性応援 2,420千円

女性が働きやすく、活躍できる企業を「働く女性応援企業」として認証するとともに、取組事例を広く公表して地域への波及効果を促します。

○ 女性の起業チャレンジ応援 498千円

○ 女性の創業応援利子補給（2年間全額補助）【再掲】 1,900千円

○ 女性の資格取得支援（ひとり親） 9,832千円

新 ジェンダー平等の推進 670千円

女性が抱える身体的・精神的・経済的負担を軽減するため、公共施設、公立中学校の多目的トイレと女子トイレに生理用品を配置します。

物価高騰対策

10事業 52億6,465万円

拡 生活支援特別給付金 3,318,000千円
(一部12月・2月補正予算計上済)

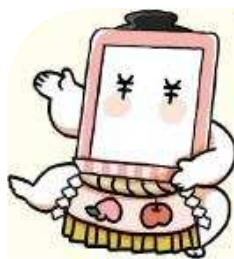
低所得世帯の生活を支援するため、特別給付金を給付します。
早期の給付を目指し、給付可能な世帯から随時給付していきます。

| 世帯 | 特別給付金 (1世帯あたり) | こども加算 (児童1人あたり) |
|------------------------------------|-------------------|--------------------|
| ① 令和5年度住民税非課税世帯 | 70,000円 | 50,000円 |
| ② 住民税均等割りのみ課税世帯 | 100,000円 | |
| 新 令和6年度住民税非課税世帯等 ※①、②を除く | 100,000円 | |

○ 選択型エールクーポン 710,000千円
(12月補正で予算計上済)

紙の値引き型クーポンまたはデジタルクーポン
「福デジくん」を選べるエールクーポンを発行し、長引く物価高に直面する市民生活支援と、地域経済の下支えを図ります。

■ 利用期間/令和6年3月8日～5月31日



| タイプ | 内容(1人あたり) |
|----------|---|
| 値引き型クーポン | 500円値引きクーポン3枚(1,500円分) |
| デジタルクーポン | ① 5,000円購入で 6,500円分 ② 10,000円購入で12,500円分 |

拡 福島型給食推進事業【再掲】 562,935千円

○ 子ども食堂運営支援 2,000千円

市内企業・団体等のフードドライブ活動を推進し、子ども食堂の運営支援を通じて、子育て世帯を支援します。

○ 米粉等利用拡大支援 1,230千円



海外情勢の影響を受けやすい小麦粉の代用原料となる米粉等を活用した商品開発から生産・販売までの取り組みを支援します。

新 道路の地域安全緊急対策【再掲】 200,000千円

- 資材高騰・人件費上昇のなかで、市民の安全に直結する道路の修繕や改良の事業量を確保するための緊急安全対策
- 交通量の多い路線の舗装・区画線の修繕や緊急車両の通行、災害時の避難に支障をきたす道路の改良を集中的に実施

○ 中小企業ゼロカーボン資金融資【再掲】 410,500千円

新 農家の脱炭素設備導入支援【再掲】 4,800千円

拡 脱炭素・循環型農業支援【再掲】 17,882千円

○ 脱炭素住宅整備促進【再掲】 37,300千円

IV 将来にわたり持続可能な財政運営の推進（資料編）

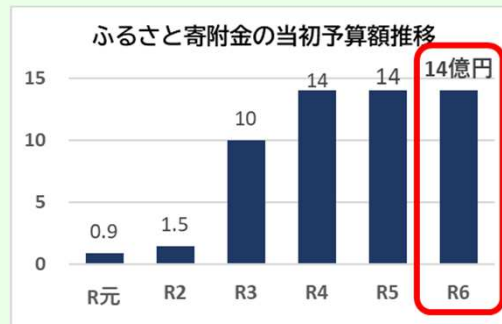
1 財源の確保

将来にわたり持続可能な財政運営を維持するとともに、社会情勢の変化や新たな地域の課題に対応する緊急度・優先度の高い事業に予算を振り向けるため、市税をはじめとする自主財源の確保、事務事業の見直し、交付税措置のある有利な市債の活用に努めました。

（1）自主財源の確保

- **市税の確保** 予算額 396億円
歳入の根幹となる市税は定額減税の影響で減となるが、代替の地方特例交付金との合計では昨年度と同水準を確保。
(対前年度比 △11億円、地方特例交付金（定額減税分） +10.3億円)

- **ふるさと寄附金の確保** 予算額 14億円
市のまちづくりの方向性や魅力をPRし、賛同と共感を得ながら、引き続きふるさと寄附金の確保を目指します。



- **自治体ビジネス収入** 予算額 55万円
内製で開発した議会答弁検討システムを企業との連携で商品化。その著作権収入を見込みます。

- **ネーミングライツ収入の拡大** 予算額 1,958万円
ネーミングライツにより、民間事業者との連携で収入を確保します。十六沼公園等への新規公募も実施し、拡大を図ります。

【既に導入している施設】

| | |
|----------------|--------------------|
| 福島トヨタクラウンアリーナ | ふくしん夢の音楽堂 |
| NCVふくしまパークゴルフ場 | キョウワグループ・テルサホール |
| NCVふくしまアリーナ | ふくしま児童公園SFCももりんパーク |
| 誠電社WINDYスタジアム | インテックテニスガーデン |

- **広告料収入の拡大** 予算額 1,249万円
民間事業者の活動を促進するとともに、市有財産を有効に活用して収入拡大を図ります。新たに本庁舎エレベーター扉等に企業広告を募集します。
(対前年度比 +259万円)

【既に導入しているもの】

| | | |
|---------------|--------------|------------|
| 市政だより | 市ホームページ | シェアサイクル |
| 番号案内表示システム | 福島駅西口エールビジョン | クリーンガイドブック |
| 福島市子育てポータルサイト | | |

(2) 事務事業の見直し等による財源の捻出

- 経常的な事務事業については、消耗品費等の一部費目にマイナス5%シーリングの枠配分方式を導入し、各部局における主体的な見直しを行いました。
- 政策的な経費についても、事業の実績・効果とコストの検証を踏まえた事業の見直し・再構築に努めました。
- デジタル技術の活用による業務の効率化・コストの削減に努めました。
 - 内部研修による職員の情報処理能力の底上げ
 - BPRとシステム内製
 - 音声文字起こしシステム、生成AI等の活用
- 照明のLED化や太陽光発電機の設置等の公共施設の省エネルギー化・再生可能エネルギー導入により、電気料の抑制を図ります。

(3) 有利な市債の活用

- 公共施設やインフラ施設の整備に充当する市債について、地方交付税措置のある有利なものを中心に活用し、実質的な将来負担の軽減に努めました。

(単位 千円)

| 区分 | 予算額 | 比率 | 措置見込額 (元金ベース) | 措置率 |
|----------|------------|--------|------------------|--------|
| 臨時財政対策債 | 900,000 | 8.1% | 900,000 | 100.0% |
| 事業充当の市債 | 10,213,700 | 91.9% | 3,906,778 | 38.3% |
| 交付税措置あり | 8,889,500 | 80.0% | 3,906,778 | 43.9% |
| 交付税措置なし | 1,324,200 | 11.9% | - | 0.0% |
| 計 | 11,113,700 | 100.0% | 4,806,778 | 43.3% |
| (実質的な借金) | | | 6,306,922 | 56.7% |

(4) 基金の活用

- 財政調整基金をはじめとする各種基金を有効に活用しました。
- 基金の年度末残高の合計は、令和5年度末現在高よりも47億円減少する見込みです。

基金繰入金 17基金 67億8,751万円

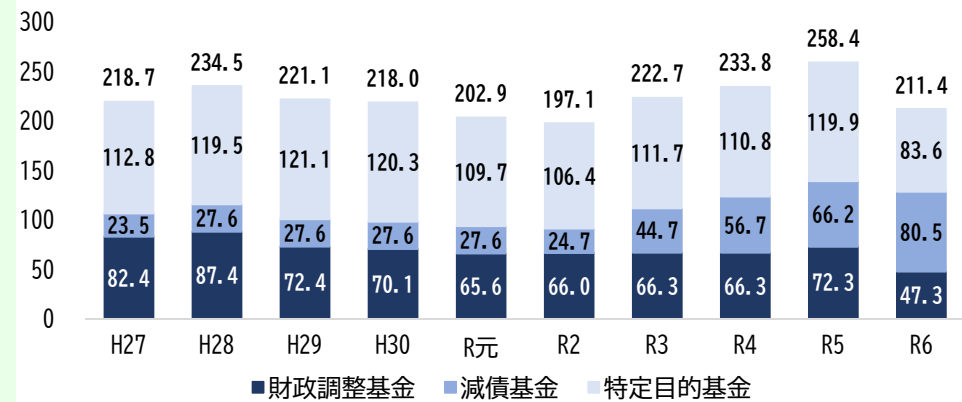
(単位 千円)

| 基金名 | 繰入額 |
|------------|-----------|
| 財政調整基金 | 2,500,000 |
| 減債基金 | 567,161 |
| 特定目的基金 | 3,720,350 |
| 庁舎整備基金 | 2,653,149 |
| 長寿社会福祉基金 | 232,385 |
| 環境基金 | 215,300 |
| 公共施設建設基金 | 156,536 |
| 農林業振興基金繰入金 | 138,814 |
| その他10基金 | 324,166 |
| 計 | 6,787,511 |

※ 庁舎整備基金繰入金2,653,149千円のうち2,000,000千円は減債基金に積み立て、(仮称)市民センター建設で借り入れる起債の後年度の元利償還に充てていきます。

年度末基金残高の推移

(単位 億円)



2 一般会計歳入の状況

(1) 科目別歳入予算

| 款 | (単位 千円、%) | | | | | |
|----------------------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|--------|
| | 令和6年度 | | 令和5年度 | | 増 △ 減 | |
| | 予算額 | 構成比 | 予算額 | 構成比 | 予算額 | 増減率 |
| 1 市税 | 39,600,000 | 33.7 | 40,700,000 | 35.5 | △ 1,100,000 | △ 2.7 |
| 2 地方譲与税 | 1,080,906 | 0.9 | 1,038,154 | 0.9 | 42,752 | 4.1 |
| 3 利子割交付金 | 14,000 | 0.0 | 14,000 | 0.0 | - | 0.0 |
| 4 配当割交付金 | 125,000 | 0.1 | 109,000 | 0.1 | 16,000 | 14.7 |
| 5 株式等譲渡所得割交付金 | 58,000 | 0.0 | 56,000 | 0.0 | 2,000 | 3.6 |
| 6 法人事業税交付金 | 766,000 | 0.7 | 720,000 | 0.6 | 46,000 | 6.4 |
| 7 地方消費税交付金 | 7,700,000 | 6.5 | 7,570,000 | 6.6 | 130,000 | 1.7 |
| 8 ゴルフ場利用税交付金 | 5,000 | 0.0 | 5,000 | 0.0 | - | 0.0 |
| 9 環境性能割交付金 | 74,000 | 0.1 | 67,000 | 0.1 | 7,000 | 10.4 |
| 10 国有提供施設等所在市町村助成交付金 | 1,945 | 0.0 | 1,932 | 0.0 | 13 | 0.7 |
| 11 地方特例交付金 | 1,327,076 | 1.1 | 292,051 | 0.3 | 1,035,025 | 354.4 |
| 12 地方交付税 | 13,300,000 | 11.3 | 12,000,000 | 10.5 | 1,300,000 | 10.8 |
| 13 交通安全対策特別交付金 | 33,000 | 0.0 | 39,000 | 0.0 | △ 6,000 | △ 15.4 |
| 14 分担金及び負担金 | 590,576 | 0.5 | 535,579 | 0.5 | 54,997 | 10.3 |
| 15 使用料及び手数料 | 1,477,881 | 1.3 | 1,523,377 | 1.3 | △ 45,496 | △ 3.0 |
| 16 国庫支出金 | 19,251,942 | 16.4 | 21,122,108 | 18.4 | △ 1,870,166 | △ 8.9 |
| 17 県支出金 | 9,267,880 | 7.9 | 10,582,556 | 9.2 | △ 1,314,676 | △ 12.4 |
| 18 財産収入 | 391,398 | 0.3 | 352,573 | 0.3 | 38,825 | 11.0 |
| 19 寄附金 | 1,653,629 | 1.4 | 1,641,225 | 1.4 | 12,404 | 0.8 |
| 20 繰入金 | 6,886,024 | 5.9 | 4,657,228 | 4.1 | 2,228,796 | 47.9 |
| 21 繰越金 | 1 | 0.0 | 1 | 0.0 | - | 0.0 |
| 22 諸収入 | 2,982,042 | 2.5 | 2,689,316 | 2.4 | 292,726 | 10.9 |
| 23 市債 | 11,113,700 | 9.4 | 8,983,900 | 7.8 | 2,129,800 | 23.7 |
| 合 計 | 117,700,000 | 100.0 | 114,700,000 | 100.0 | 3,000,000 | 2.6 |

主な増減理由

1 市税

- 市民税 167億700万円 (△10億4,100万円)
 - ・ 定額減税により個人住民税所得割が減
 - ・ 物価高騰が建設業等の利益を圧迫する一方、金融業等が堅調で、法人市民税は微増の見込
- 固定資産税 169億7,600万円 (△5,400万円)
 - ・ 3年おきの評価替えによる家屋の減

11 地方特例交付金

- ・ 定額減税による市民税の減収補填分の増

12 地方交付税

- 普通交付税 117億円 (+10億円)
 - ・ こども・子育て政策の強化や給与改定を反映した需要額の増
 - ・ 国の地方財政計画を反映した臨時財政対策債振替相当額の減による増

16 国庫支出金

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種に係る負担金・補助金の皆減
- ・ 福島駅東口地区再開発事業に係る補助金の減

17 県支出金

- ・ 除去土壌関連事業の進捗による負担金の減

20 繰入金

- ・ (仮称)市民センター整備事業の進捗による庁舎整備基金繰入金の増

22 諸収入

- ・ デジタル基盤改革支援補助金の増

23 市債

- 臨時財政対策債 9億円 (△5億円)
 - ・ 国の地方財政計画における臨時財政対策債の減
- 事業充当の市債 102億1,370万円 (+26億2,980万円)
 - ・ (仮称)市民センター整備事業の進捗による増

(2) 自主財源と依存財源の内訳

(単位 千円、%)

| 区 分 | 令和6年度 | | 令和5年度 | | 増 △ 減 | |
|-------------------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|--------|
| | 予算額 | 構成比 | 予算額 | 構成比 | 予算額 | 増減率 |
| 自主財源 | | | | | | |
| 市税 | 39,600,000 | 33.6 | 40,700,000 | 35.5 | △ 1,100,000 | △ 2.7 |
| 分担金及び負担金 | 590,576 | 0.5 | 535,579 | 0.5 | 54,997 | 10.3 |
| 使用料及び手数料 | 1,477,881 | 1.3 | 1,523,377 | 1.3 | △ 45,496 | △ 3.0 |
| 財産収入 | 391,398 | 0.3 | 352,573 | 0.3 | 38,825 | 11.0 |
| 寄附金 | 1,405,561 | 1.2 | 1,405,295 | 1.2 | 266 | 0.0 |
| 繰入金 | 6,886,024 | 5.9 | 4,657,228 | 4.1 | 2,228,796 | 47.9 |
| 繰越金 | 1 | 0.0 | 1 | 0.0 | - | 0.0 |
| 諸収入 | 2,916,479 | 2.5 | 2,640,733 | 2.3 | 275,746 | 10.4 |
| 小 計 | 53,267,920 | 45.3 | 51,814,786 | 45.2 | 1,453,134 | 2.8 |
| 依存財源 | | | | | | |
| 地方譲与税 | 1,080,906 | 0.9 | 1,038,154 | 0.9 | 42,752 | 4.1 |
| 利子割交付金 | 14,000 | 0.0 | 14,000 | 0.0 | - | 0.0 |
| 配当割交付金 | 125,000 | 0.1 | 109,000 | 0.1 | 16,000 | 14.7 |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 58,000 | 0.0 | 56,000 | 0.1 | 2,000 | 3.6 |
| 法人事業税交付金 | 766,000 | 0.7 | 720,000 | 0.6 | 46,000 | 6.4 |
| 地方消費税交付金 | 7,700,000 | 6.5 | 7,570,000 | 6.6 | 130,000 | 1.7 |
| ゴルフ場利用税交付金 | 5,000 | 0.0 | 5,000 | 0.0 | - | 0.0 |
| 環境性能割交付金 | 74,000 | 0.1 | 67,000 | 0.1 | 7,000 | 10.4 |
| 国有提供施設等所在市町村助成交付金 | 1,945 | 0.0 | 1,932 | 0.0 | 13 | 0.7 |
| 地方特例交付金 | 1,327,076 | 1.1 | 292,051 | 0.3 | 1,035,025 | 354.4 |
| 地方交付税 | 13,300,000 | 11.3 | 12,000,000 | 10.5 | 1,300,000 | 10.8 |
| 交通安全対策特別交付金 | 33,000 | 0.0 | 39,000 | 0.0 | △ 6,000 | △ 15.4 |
| 国庫支出金 | 19,251,942 | 16.4 | 21,122,108 | 18.4 | △ 1,870,166 | △ 8.9 |
| 県支出金 | 9,267,880 | 7.9 | 10,582,556 | 9.2 | △ 1,314,676 | △ 12.4 |
| 寄附金 | 248,068 | 0.2 | 235,930 | 0.2 | 12,138 | 5.1 |
| 諸収入 | 65,563 | 0.1 | 48,583 | 0.0 | 16,980 | 35.0 |
| 市債 | 11,113,700 | 9.4 | 8,983,900 | 7.8 | 2,129,800 | 23.7 |
| 小 計 | 64,432,080 | 54.7 | 62,885,214 | 54.8 | 1,546,866 | 2.5 |
| 合 計 | 117,700,000 | 100.0 | 114,700,000 | 100.0 | 3,000,000 | 2.6 |

3 一般会計歳出の状況

(1) 科目別歳出予算と主な増減理由

(単位 千円、%)

| 款 | 令和6年度 | | 令和5年度 | | 増 △ 減 | |
|----------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|--------|
| | 予算額 | 構成比 | 予算額 | 構成比 | 予算額 | 増減率 |
| 1 議会費 | 642,867 | 0.5 | 644,774 | 0.6 | △ 1,907 | △ 0.3 |
| 2 総務費 | 17,552,397 | 14.9 | 12,271,058 | 10.7 | 5,281,339 | 43.0 |
| 3 民生費 | 45,612,203 | 38.8 | 43,800,442 | 38.2 | 1,811,761 | 4.1 |
| 4 衛生費 | 9,325,097 | 7.9 | 11,016,379 | 9.6 | △ 1,691,282 | △ 15.4 |
| 5 労働費 | 103,848 | 0.1 | 102,741 | 0.1 | 1,107 | 1.1 |
| 6 農林水産業費 | 2,444,342 | 2.1 | 2,223,082 | 1.9 | 221,260 | 10.0 |
| 7 商工費 | 3,136,483 | 2.7 | 3,207,687 | 2.8 | △ 71,204 | △ 2.2 |
| 8 土木費 | 12,170,136 | 10.3 | 12,896,423 | 11.2 | △ 726,287 | △ 5.6 |
| 9 消防費 | 3,624,110 | 3.1 | 3,116,253 | 2.7 | 507,857 | 16.3 |
| 10 教育費 | 11,916,205 | 10.1 | 13,266,920 | 11.6 | △ 1,350,715 | △ 10.2 |
| 11 災害復旧費 | 850,000 | 0.7 | 2,010,000 | 1.7 | △ 1,160,000 | △ 57.7 |
| 12 公債費 | 10,122,312 | 8.6 | 9,844,241 | 8.6 | 278,071 | 2.8 |
| 13 予備費 | 200,000 | 0.2 | 300,000 | 0.3 | △ 100,000 | △ 33.3 |
| 合 計 | 117,700,000 | 100.0 | 114,700,000 | 100.0 | 3,000,000 | 2.6 |

主な増減理由

2 総務費

- ・ (仮称) 市民センター整備事業費の増

3 民生費

- ・ 住民税非課税世帯等生活支援特別給付金給付事業費の増
- ・ 高齢者公共交通利用助成事業費の増
- ・ 障害者自立支援事業費の増

4 衛生費

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種・体制確保事業費の減
- ・ PCR検査事業費の減

6 農林水産業費

- ・ 新規就農者育成総合対策事業費の増
- ・ 地域でつくる農林業振興基金事業費の増
- ・ 農業水路等長寿命化・防災減災事業費の増

7 商工費

- ・ 中小企業ゼロカーボン資金融資預託金の減

8 土木費

- ・ 福島駅東口地区市街地再開発緊急支援対策費の減
- ・ ふくしま☆スタイル住宅整備事業費の減

9 消防費

- ・ 常備消防自動車等整備費の増
- ・ 消防本部・福島消防署整備事業費の増

10 教育費

- ・ 松陵中学校校舎等改築事業費の減
- ・ ふくしま支援学校校舎等改築事業費の減
- ・ 旧広瀬座再整備事業費の増

11 災害復旧費

- ・ 仮置場返還等推進事業費の減

(2) 性質別歳出予算と主な増減理由

(単位 千円、%)

| 性 質 別 | 令和6年度 | | 令和5年度 | | 増 △ 減 | |
|--------------|--------------------|--------------|--------------------|--------------|------------------|------------|
| | 予算額 | 構成比 | 予算額 | 構成比 | 予算額 | 増減率 |
| 義務的経費 | | | | | | |
| 人件費 | 19,907,339 | 16.9 | 18,680,290 | 16.3 | 1,227,049 | 6.6 |
| 扶助費 | 27,112,582 | 23.0 | 26,993,124 | 23.5 | 119,458 | 0.4 |
| 公債費 | 10,126,379 | 8.6 | 9,848,308 | 8.6 | 278,071 | 2.8 |
| 小 計 | 57,146,300 | 48.5 | 55,521,722 | 48.4 | 1,624,578 | 2.9 |
| 消費的経費 | | | | | | |
| 物件費 | 20,512,014 | 17.4 | 21,024,188 | 18.3 | △ 512,174 | △ 2.4 |
| 維持補修費 | 1,749,807 | 1.5 | 1,679,769 | 1.5 | 70,038 | 4.2 |
| 補助費等 | 9,477,328 | 8.1 | 8,937,664 | 7.8 | 539,664 | 6.0 |
| 小 計 | 31,739,149 | 27.0 | 31,641,621 | 27.6 | 97,528 | 0.3 |
| 投資的経費 | | | | | | |
| 普通建設事業費(補助) | 8,202,330 | 7.0 | 8,494,795 | 7.4 | △ 292,465 | △ 3.4 |
| 普通建設事業費(単独) | 5,568,165 | 4.7 | 3,896,103 | 3.4 | 1,672,062 | 42.9 |
| 小 計 | 13,770,495 | 11.7 | 12,390,898 | 10.8 | 1,379,597 | 11.1 |
| 災害復旧費 | | | | | | |
| 災害復旧費(補助) | 700,000 | 0.6 | 2,010,000 | 1.8 | △ 1,310,000 | △ 65.2 |
| 災害復旧費(単独) | 150,000 | 0.1 | 13,136 | 0.0 | 136,864 | 1,041.9 |
| 小 計 | 850,000 | 0.7 | 2,023,136 | 1.8 | △ 1,173,136 | △ 58.0 |
| その他 | | | | | | |
| 積立金 | 2,093,476 | 1.8 | 908,879 | 0.8 | 1,184,597 | 130.3 |
| 投資及び出資金 | 90 | 0.0 | 90 | 0.0 | - | 0.0 |
| 貸付金 | 1,657,700 | 1.4 | 1,788,196 | 1.5 | △ 130,496 | △ 7.3 |
| 繰出金 | 10,242,790 | 8.7 | 10,125,458 | 8.8 | 117,332 | 1.2 |
| 予備費 | 200,000 | 0.2 | 300,000 | 0.3 | △ 100,000 | △ 33.3 |
| 小 計 | 14,194,056 | 12.1 | 13,122,623 | 11.4 | 1,071,433 | 8.2 |
| 合 計 | 117,700,000 | 100.0 | 114,700,000 | 100.0 | 3,000,000 | 2.6 |

主な増減理由

人件費

- ・ 会計年度任用職員の給料、期末・勤勉手当、共済費の増
- ・ 職員退職手当の増

扶助費

- ・ 障害者自立支援事業費の増
- ・ 私立幼稚園・認定こども園給付費の増

公債費

- ・ 長期債償還元金・利子の増

物件費

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種・体制確保事業費の減
- ・ PCR検査事業費の減
- ・ 高齢者公共交通利用助成事業費の増

補助費等

- ・ 住民税非課税世帯等生活支援特別給付金給付事業費の増

普通建設事業費

- ・ (仮称)市民センター整備事業費の増
- ・ 松陵中学校校舎等改築事業費の減
- ・ 福島駅東口地区市街地再開発緊急支援対策費の減

災害復旧費

- ・ 仮置場返還等推進事業費の減

積立金

- ・ 減債基金積立金の増

貸付金

- ・ 中小企業ゼロカーボン資金融資預託金の減

繰出金

- ・ 後期高齢者医療事業費特別会計繰出金の増
- ・ 国民健康保険事業費特別会計繰出金の増

(3) 地方消費税交付金（社会保障財源分）が充てられる社会保障施策経費

地方消費税の税率引上分による税収は、年金・医療・介護・少子化対策などの社会保障施策に必要な経費に充てるとされています。

令和6年度歳入における地方消費税交付金のうち、社会保障財源分は42.0億円を見込んでおり、この収入は下記の社会保障施策の一般財源に充てております。

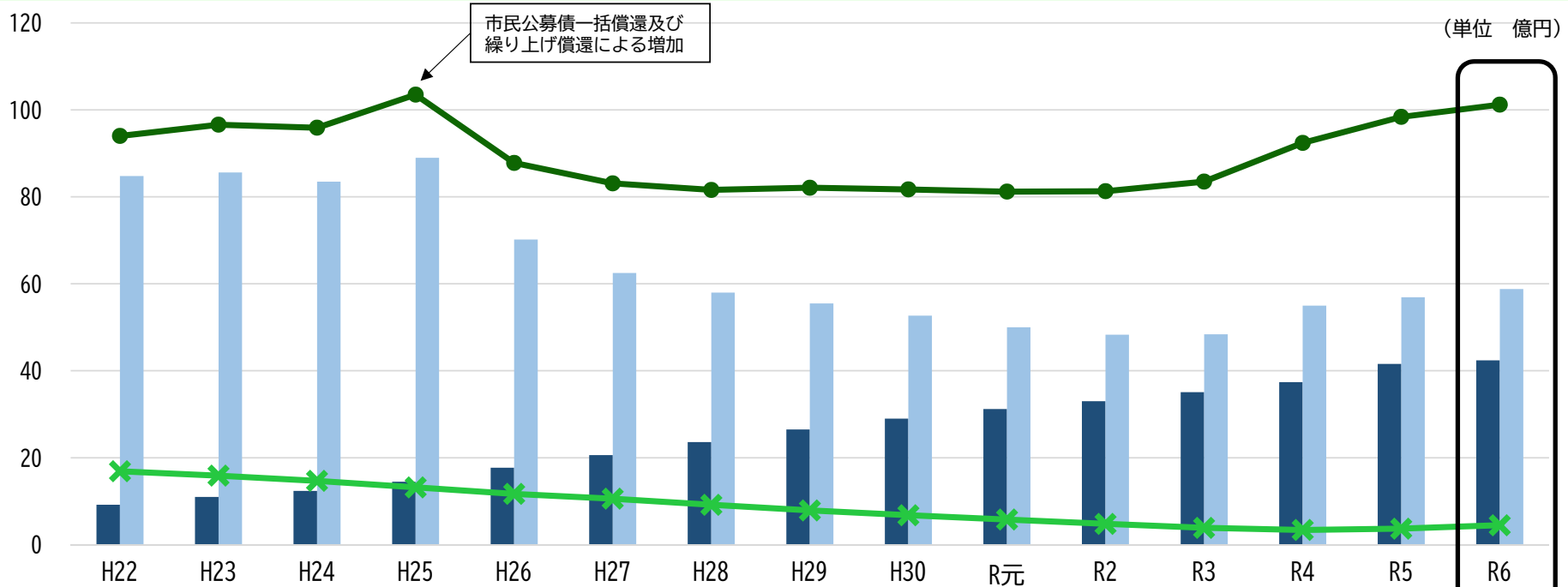
(単位 千円)

| 事業名 | 予算額 | 財源内訳 | | |
|-------|------------------|------------|------------|------------|
| | | 特定財源 | 一般財源 | |
| 社会福祉費 | 社会福祉総務費 | 1,581,611 | 33,946 | 1,547,665 |
| | 国民健康保険事業費特別会計繰出金 | 1,965,297 | 853,405 | 1,111,892 |
| | 障害者福祉費 | 7,327,225 | 5,141,679 | 2,185,546 |
| | 老人福祉費 | 1,882,667 | 796,316 | 1,086,351 |
| | 介護保険費 | 4,290,515 | 217,915 | 4,072,600 |
| | 後期高齢者医療費 | 3,832,242 | 594,437 | 3,237,805 |
| | 小計 | 20,879,557 | 7,637,698 | 13,241,859 |
| 児童福祉費 | 児童福祉総務費 | 2,188,619 | 941,174 | 1,247,445 |
| | 児童措置費 | 17,004,711 | 11,080,127 | 5,924,584 |
| | 児童福祉施設費 | 131,186 | 11,017 | 120,169 |
| | 青少年育成費 | 27,405 | 4,866 | 22,539 |
| | 小計 | 19,351,921 | 12,037,184 | 7,314,737 |
| 生活保護費 | 生活保護総務費 | 351,833 | 37,675 | 314,158 |
| | 扶助費 | 4,983,825 | 3,737,868 | 1,245,957 |
| | 小計 | 5,335,658 | 3,775,543 | 1,560,115 |
| 保健衛生費 | 保健衛生総務費 | 725,514 | 51,929 | 673,585 |
| | 保健所費 | 875,301 | 50,045 | 825,256 |
| | 保健指導費 | 417,198 | 72,404 | 344,794 |
| | 健康増進費 | 906,802 | 153,884 | 752,918 |
| | 予防費 | 989,585 | 66,771 | 922,814 |
| | 小計 | 3,914,400 | 395,033 | 3,519,367 |
| 幼稚園費 | 幼稚園費 | 467,554 | 15,716 | 451,838 |
| 合計 | 49,949,090 | 23,861,174 | 26,087,916 | |

4 一般会計の市債の状況

(1) 公債費の推移

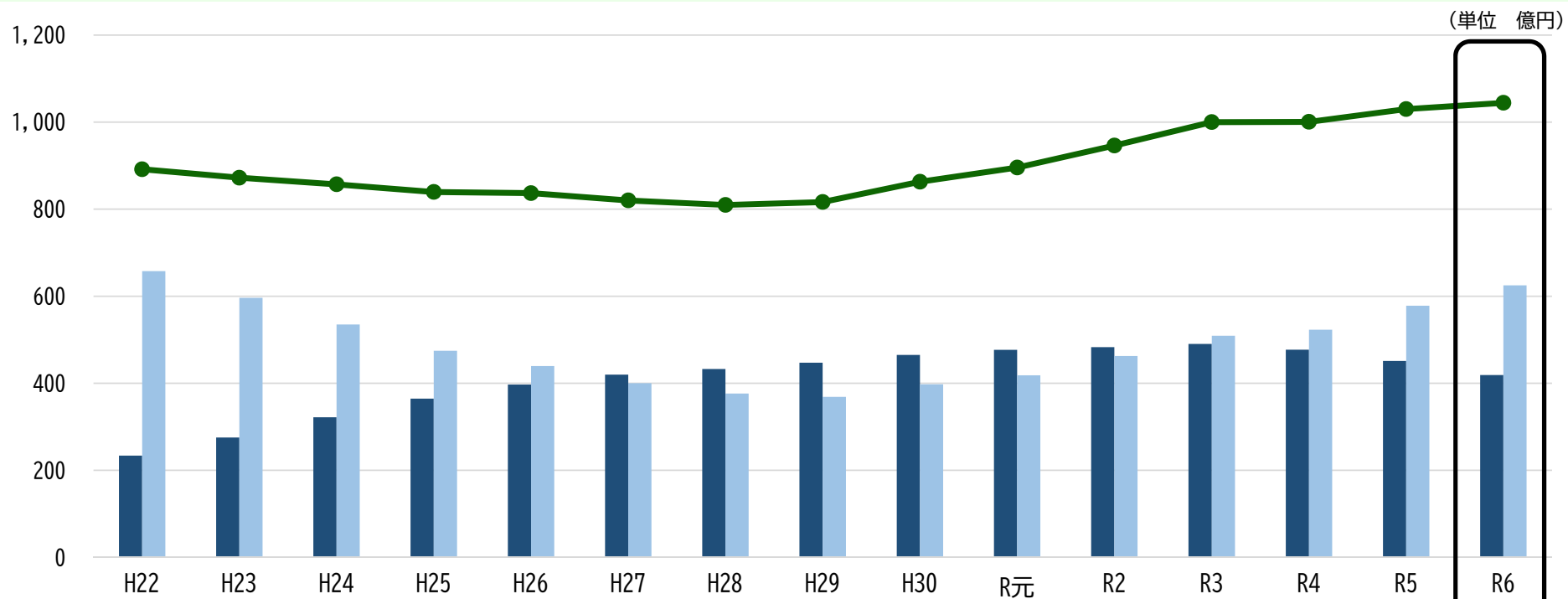
- 令和6年度の公債費予算額は、前年度より2.8億円（2.8%）増の101.2億円となりました。
- 元金償還額が2.0億円増えるとともに、利子も増加に転じて0.8億円増える見込みです。
- 臨時財政対策債の償還額が一貫して増加していますが、それ以外の事業充当市債等の償還額も令和3年度から上昇に転じています。



※ 一時借入金利子を除く。

(2) 市債残高の推移

- 市債の令和6年度末残高は、前年度末より14億円増の1,044億円となる見込みです。
- 元利償還金の100%を地方交付税で措置される臨時財政対策債が市債残高の40.1%（419億円）を占めています。
- 平成29年度末を底に上昇に転じた事業充当市債等の残高は、（仮称）市民センター整備事業等により令和6年度に47億円増加する見込みです。
- あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備をはじめとする大型事業の進捗により今後も市債残高の増加が見込まれ、厳しい財政運営が続きます。



年度末市債残高

892

872

857

840

837

820

810

816

863

896

946

1,000

1,001

1,030

1,044

うち臨時財政対策債

234

276

322

365

397

420

433

447

465

477

483

491

477

452

419

うち事業充当市債等

658

597

535

475

440

400

377

369

398

419

463

509

523

578

625

5 特別会計予算と事業会計予算

(1) 会計別予算額

| 区 分 | 令和6年度 | 令和5年度 | (単位 千円、%) | |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| | | | 増△減 | 増△減 |
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 一般会計 | 117,700,000 | 114,700,000 | 3,000,000 | 2.6 |
| 特別会計 | | | | |
| 1 国民健康保険事業費 | 21,937,927 | 22,867,972 | △ 930,045 | △ 4.1 |
| 2 飯坂町財産区 | 210,895 | 124,966 | 85,929 | 68.8 |
| 3 公設地方卸売市場事業費 | 231,190 | 220,133 | 11,057 | 5.0 |
| 4 土地区画整理事業費 | 13,470 | 24,955 | △ 11,485 | △ 46.0 |
| 5 介護保険事業費 | 28,650,447 | 28,161,163 | 489,284 | 1.7 |
| 6 庁舎整備基金運用 | 1,001,000 | 1,001,000 | 0 | 0.0 |
| 7 後期高齢者医療事業費 | 4,275,885 | 4,008,593 | 267,292 | 6.7 |
| 8 青木財産区 | 2,054 | 2,154 | △ 100 | △ 4.6 |
| 9 工業団地整備事業費 | 713,122 | 1,483,691 | △ 770,569 | △ 51.9 |
| 10 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 | 20,599 | 21,853 | △ 1,254 | △ 5.7 |
| 小計 | 57,056,589 | 57,916,480 | △ 859,891 | △ 1.5 |
| 事業会計 | | | | |
| 1 水道事業 | 11,205,019 | 11,288,156 | △ 83,137 | △ 0.7 |
| 2 下水道事業 | 12,875,649 | 14,607,644 | △ 1,731,995 | △ 11.9 |
| 3 農業集落排水事業 | 282,424 | 314,437 | △ 32,013 | △ 10.2 |
| 小計 | 24,363,092 | 26,210,237 | △ 1,847,145 | △ 7.0 |
| 合計 | 199,119,681 | 198,826,717 | 292,964 | 0.1 |

特別会計の主な増減理由

1 国民健康保険事業費

- 被保険者の減による療養給付費の減

2 飯坂財産区

- 温泉供給施設の高効率化改修工事による増

4 土地区画整理事業費

- 福島北土地区画整理事業費の減

5 介護保険事業費

- 要介護者の増及び一人当たりの給付額の増による介護サービス等給付費の増

7 後期高齢者医療事業費

- 被保険者の増による保険料納付金の増

9 工業団地整備事業費

- 第2期福島おおぞうインター工業団地整備の進捗により、主に用地補償費が減

(2) 事業会計予算

① 水道事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

| 区分 | 令和6年度 | 令和5年度 | 増△減 | |
|-------|------------|------------|----------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 収益的収入 | 7,638,062 | 7,688,253 | △50,191 | △0.7% |
| 収益的支出 | 7,685,778 | 7,566,948 | 118,830 | 1.6% |
| 資本的収入 | 1,098,688 | 1,561,478 | △462,790 | △29.6% |
| 資本的支出 | 3,519,241 | 3,721,208 | △201,967 | △5.4% |
| 支出合計 | 11,205,019 | 11,288,156 | △83,137 | △0.7% |

■ 主な事業

(単位 千円)

| ふくしま水道事業ビジョン 4つの基本方針 | 予算額 | 説明 (新規事業等) |
|-------------------------|-------------------------|--|
| 1 安全でおいしい水の供給 | 286,143 | 水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します。 ①水道施設の運転管理業務の共同発注 |
| 2 災害に強い水道の構築 | 2,165,331 | 適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。 ①小規模簡易DB方式による地元工事事業者の設計技術の向上と育成 ②ドローンを活用した水管橋点検業務委託の開始 ③官民連携による応急復旧訓練の実施 ④土湯地区水道施設整備事業へ着手 |
| 【12月補正前倒し】 【3月補正前倒し】 | 273,713 454,956 | |
| 3 持続可能な水道経営 | 1,811,466 | お客さまニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。 ①配水量分析業務委託によるデータの収集・解析、スマートメーターを活用した水利用実態調査 ②財務会計システムと連携した電子決裁システムの導入 ③資格取得等助成制度の拡充 ④水道通水100周年記念事業の準備、広報、マイボトル対応冷水機の設置 |
| 4 地球にやさしい水道へ挑戦 | 1,423(支出) 16,600(収入) | 良質な水道水の源となる水源を今後も保護しながら、自然環境への負荷低減を目指します。 ①水道設備(ポンプ)をCO2削減のため高効率設備に更新 ②ペーパーレスオフィスへの挑戦 2030年までにコピー用紙の使用を半減 |

② 下水道事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

| 区分 | 令和6年度 | 令和5年度 | 増△減 | |
|-------|------------|------------|------------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 収益的収入 | 7,573,003 | 7,621,019 | △48,016 | △0.6% |
| 収益的支出 | 7,175,317 | 7,239,879 | △64,562 | △0.9% |
| 資本的収入 | 2,936,123 | 4,514,773 | △1,578,650 | △35.0% |
| 資本的支出 | 5,700,332 | 7,367,765 | △1,667,433 | △22.6% |
| 支出合計 | 12,875,649 | 14,607,644 | △1,731,995 | △11.9% |

■ 主な事業

(単位 千円)

| 事業名 | 予算額 | 説明 |
|---------------------------------|---------------------|---|
| 1 管路建設事業 【12月補正前倒し】 | 1,655,652 48,000 | 未普及地区の下水道整備（施工延長L=2,547m）を実施します。また、集中豪雨に伴う浸水被害の軽減を図るため、雨水渠改修工事を実施します。 |
| 2 下水道ストックマネジメント事業 【12月補正前倒し】 | 22,000 129,900 | ストックマネジメント計画に基づくポンプ場・処理場の点検・調査計画の策定及び管渠のカメラ調査等の実施により異状箇所等を把握し、計画的かつ効率的に施設更新を行います。 |
| 3 水洗化普及対策事業 | 6,534 | 未水洗化世帯への下水道接続指導及び排水設備設置資金の融資に対する利子補給を実施します。 |

③ 農業集落排水事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

| 区分 | 令和6年度 | 令和5年度 | 増△減 | |
|-------|---------|---------|---------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 収益的収入 | 142,510 | 161,942 | △19,432 | △12.0% |
| 収益的支出 | 142,510 | 160,442 | △17,932 | △11.2% |
| 資本的収入 | 82,752 | 93,554 | △10,802 | △11.5% |
| 資本的支出 | 139,914 | 153,995 | △14,081 | △9.1% |
| 支出合計 | 282,424 | 314,437 | △32,013 | △10.2% |



福島市
FUKUSHIMA CITY